



泰澄大師  
白山開山1300年

泰澄・白山開山一千三百年  
時空をかける

泰澄

たいちょう

越前・若狭ふるさと巡礼

THE TAICHO

FUKUI JAPAN



不思議な靈力に救いを求めるのは  
今も昔も変わりはなく

科学全盛の今も人は祈りを捧げる。  
その一つ「白山信仰」は

古代にさかのぼる歴史をもち

日本人の宗教観や文化にも

影響を与えてきた。

開祖「泰澄」の地を巡るこの旅は

神祕のベールに隠された

日本人の祈りのルーツを開く旅。

そして、石や木や水のごとく

自ら何も求めず、あるがままに

不思議な力に癒され

心にまとう諸々を払う旅。

FUKUI  
HAPPINESS

福井県

発行 / 福井県

## 白山連峰

福井県・石川県・岐阜県・富山県にまたがる山域。主峰は御前峰(標高2,702m)。富士山と立山と合わせて日本三雪山に数えられる。

よつつかやま ななくらやま  
四塚山 七倉山

おおなんじがみね  
大汝峰

ござんがみね  
御前峰

## CONTENTS

- 02 一千三百年の時空旅
- 04 古絵図に描かれた越前国と白山
- 06 泰澄の人物像
- 08 泰澄ものがたり
- 16 三つの白山禅定道と三馬場
- 18 越のしらやま 文学散歩
- 20 越のしらやま 祈りの遠望
- 22 泰澄 白山登拝道
- 24 福井県内エリアガイド
- 42 白山からの恵み
- 44 泰澄、白山、そして白山信仰 十一の謎
- 45 MUSEUM INFORMATION
- 46 主な問い合わせ先・アクセス



写真は、福井市国見岳から望む白山連峰



泰澄大師  
白山開山1300年

# 白山信仰 祈りの源流へ

# 一千三百年の時空旅

越前に生まれ、白山を開山し  
白山信仰の祖とされる泰澄。  
時空を超え語り継がれるその歴史と  
越前若狭の癒しとやすらぎに触れる旅へ――。

今から1300年前、越前の僧・泰澄(682〜767年)が開山して以降、白山は修行の場となり、今に続く白山信仰の聖地となった。

その頂は、かつての国名を冠して「越のしらやま」と呼ばれてきた。越前側から見える白山は、峰々の稜線が長く連なり、冠雪期には、あたかも天と地を分ける神聖な境がそこにあるかのように見える。そして、越前

の一日はそこから昇る神々しい日の出に始まる。そうした「越のしらやま」は、今も福井県の人々にとって神聖で特別な山として存在している。

泰澄・白山開山一千三百年――。長い時を経てもなお祈りが捧げられ続ける白山信仰とは何か、開祖泰澄とはどんな人物か。その謎を探る旅は、日本人の祈りの源流を訪ね、日本人のアイデンティティを見つめる旅とも言える。

**白山** 泰澄が神仏の関係を感得した3つの峰が描かれている。



# 古絵図に描かれた 越前国と白山

貞享2年(1685)に作成された「越前国之図」には、雪を頂く白山の峰が、神秘的なまでに美しく描かれている。当時は、白山平泉寺が頂上を管理していた。

昔の地図からひも解く歴史散歩の始まり

泰澄に逢いに行こう！

古絵図は時空旅への案内役——。想像力を膨らませ、泰澄のふるさと福井への旅支度が、ここから始まる。



越前国之図 貞享2年(1685)

越前国…現在の敦賀市(絵図の南西部分)から以北

実寸 398cm×408cmの地図に、社寺や山、池、森なども絵入りで詳細に描かれている。赤や青の点に見えるのは、色分けされた村や浦の名前。(松平文庫 福井県立図書館保管)



白山平泉寺

白山に向かう泰澄が女神と会った地が、後に白山平泉寺となった。女神が現れたという池も描かれている。



越知山

少年時代に泰澄が修行を始めた地。白山開山後も白山平泉寺とここを行き来して修行に励んだという。



大谷寺

泰澄が修行し、また、晩年を過ごして遷化(亡くなること)した。周辺の山々は多くの行者や僧が集まり、修行をした地。

泰澄寺

泰澄の生誕地に建立されたと伝わる。絵図には「泰澄大師」と記され、堂が描かれている。



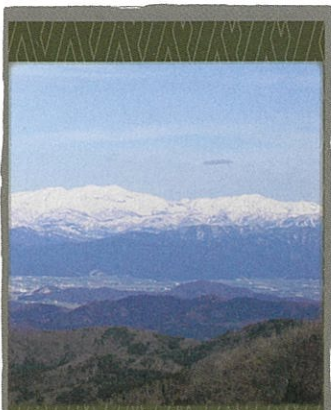
現在の県境(紫色)と古絵図を重ねた図。

越前国之図に描かれる白山

貞享2年の越前国之図を見ると、越前国の領域が現在の福井県域のさらに東北部(現在の石川県と岐阜県の一部)まで広がっていたことがわかる。

また、藩はこの絵図の作成にあたり、国内各地から資料を提出させ、それをもとにした地理の本3冊も併せてつくっている。それらの本の越前国大野郡の箇所には、白山に関する項目もある。

※拡大した画像は対象物の向きにあわせて回転しているため、絵図中の向きとは異なる



今昔物語ほか様々な伝説から浮かび上がる

# 泰澄の人物像

上の写真は越知山から望む白山連峰

泰澄のふるさと福井に  
数多く残る泰澄伝説

泰澄の伝記に『泰澄和尚伝記』がある。平安中期に天台宗の僧が口述し、大谷寺（越前町）の僧が筆記したというもので、金沢文庫本、大谷寺本、平泉寺本ほか何冊もの写本がある。

さらにこれ以外にも、泰澄にまつわる様々な伝説が残っている。特に福井県の越前とよばれる地域には、泰澄ゆかりの地が驚くほど多い。この地に住む人々は、古くから何らかのかたちで白山信仰や泰澄の伝承に関わってきたと言える。

また、白山を開いたとされる泰澄の業績は、越前から全国へと伝わり、文献にも記されてきた。

瞬間移動と  
不死身の超人！  
空中浮遊能力をもつ

仙人

今も生きている？ スーパー仙人  
平安時代に書かれた説話集には、「どんなに遠くの場所へも一瞬にしてたどり着き、翼がないのに飛んだ」と泰澄の超人的な能力が紹介され、「数百年経っても死なず、その命の終わりを知らない」とも記されている。（『本朝神仙伝』より）

呪術師

泰澄は不思議な霊力で元正天皇の病を治した功により、神融禪師（じんゆうぜんじ）の号を受けた。また、国じゅうに広がった疫病を封じるなど、民衆を癒すヒーラーでもあった。（『泰澄和尚伝記』より）

民衆を癒すヒーラー

神通力界の若きエース

優れた神通力（霊能力）で災いを封じて日本を護るため、文武天皇は21歳の若い泰澄を鎮護国家の法師に任命した。（『泰澄和尚伝記』より）

カリスマ

伝記にみる  
泰澄年表



716年	702年	693年	682年
▼ <b>霊亀2年</b> 貴女（白山神）の夢告を受ける。	▼ <b>大宝2年</b> 勅使が遣わされ、鎮護国家の法師となる。	▼ <b>持統天皇7年</b> 僧道昭が神童であるといわれ、その後14歳（大谷寺本では11歳）の時に、夢告により越知山に通い、修行を始める。	▼ <b>文武天皇11年</b> 6月11日 越前国麻生津の三神安角を父、伊野氏の女性を母として誕生。

修験道の2トップ  
愛宕山で悪霊を封じる

修験道で有名な役行者（えんのぎょうじゃ）とともに、愛宕山（京都市）にいた悪霊たちを秘術で封じた。泰澄がその場所を祀ったのが愛宕権現の始まりとされ、同地の月輪（つきのわ）寺の開基は泰澄と伝わる。（『白雲寺縁起』『日本霊異記』より）

修験者

霊験で雷の子を縛る

泰澄が法華経を唱えると、縛られた子どもの雷が空から落ちてきた。（『今昔物語集』より）

霊能者

※こしのだいに  
越の大徳

泰澄

その視線の先には.....



肖像画のお顔はなぜ少し上向き？

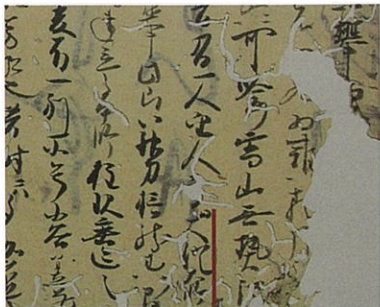
その目線の先にあるのは越知山の山頂から日の出の方向（東）に望む白山連峰。下向きの指は怨霊や邪気、魑魅魍魎（ちみもつりょう）を地に封じる形（印相）との説もある。

越知大権現垂流図 部分（大谷寺蔵）

近年発表された  
文献の研究では...

新発見が語る「泰澄」と  
白山信仰の拠点「白山平泉寺」

平安時代後期に白山平泉寺で行われた落慶法要について記された称名寺聖教（国宝）の「上素帖」に「大（泰）澄大師」（写真傍線部）との記載があり、その神力や白山平泉寺の大規模な伽藍の状況などが書かれている。



（称名寺【横浜市】所蔵  
神奈川県立金沢文庫管理）

法隆寺のお経にある  
「泰澄」の署名

宮内庁が管理する宝物の中に、天平2年（730）に書写された「法隆寺一切経」があり、そこに「泰澄」という署名がある。（『法隆寺一切経』宮内庁書陵部蔵）

※ 越の大徳…偉大な徳をもつ越国（こしのくに）の高僧という意味の呼称。（古代、「越」は現在の福井県敦賀市から新潟県あたりまでを含んでいた）

（年齢は生まれた年を1歳とする数え年で表記）

767年(86歳)	737年	736年	725年	722年	717年(36歳)
▼ <b>神護景雲元年</b> 大谷寺釈迦堂の仙窟にて即身成仏となり遷化。	▼ <b>天平9年</b> 全国に流行した天然痘を祈禱により終息させた。その功により聖武天皇から大和尚位を授けられ、「泰澄」と名乗る。	▼ <b>天平8年</b> 玄昉より十一面経を授けられる。	▼ <b>神亀2年</b> 行基が白山に泰澄を訪ねる。	▼ <b>養老6年</b> 元正天皇の病気を平癒し神融禪師の号を賜る。	▼ <b>養老元年</b> 白山に登り（白山開山）神は仏の現身であると感得。

※ 即身成仏：現世の肉体のまま仏になること  
※ 遷化：高僧がこの世を去ること



誕生の地から越知山へ、そして白山へと向かった泰澄——越前を拠点とした修行の軌跡

# 泰澄ものがたり

泰澄のふるさと福井にはゆかりの地がいっぱい！伝説探訪の旅の楽しみをさらに深めるためにまずは『泰澄和尚伝記』をもとにした物語からその生涯を追ってみよう。



## 【1の章】

# 誕生と修行の地



### 不思議な子ども

時は飛鳥時代、天武天皇11年(682)6月11日、泰澄は越前国麻生津(福井市三十八社町)の三神安角を父に、伊野氏の女性を母として生まれた。幼い頃の泰澄は、一人で泥をこねて仏像を作って遊

ぶ不思議な子どもだった。11歳の頃、仏教の布教にこの地を訪れていた道昭という高僧が、泰澄を一目見て神童と見抜き、それを両親に伝えた。また、14歳(大谷寺本では11歳)の時には、泰澄の夢に僧が現れ、「僧になり世の中のために働くように」と告げた。

### 越知山での修行

夢のお告げ以降、泰澄は毎夜、越知山に通い、修行を始める。夜になるとこっそりと家を抜け出し越知山にある岩屋へ行き、朝には家に戻っていた。麻生津から越知山までは、直線距離でも14から15キロメートルある。しかも山中の道なき道を毎夜一人で往復し、修行を続けたという。

### 霊力を得た泰澄

泰澄は修行により不思議な力を身につけ、それが都にも知れ渡り、21歳の時、文武天皇から、仏教で国を護る鎮護国家の法師に任命された。その頃、弟子の臥行者は、日本海に行く船に鉢を飛ばして米を分けてもらっていた。和銅5年(712)、朝廷に



納める米を運ぶ船頭がそれを断ると、臥行者は米俵を全て越知山に飛ばしてしまふ。船頭は謝って米を返してもらい、米を朝廷に届けた帰りに弟子(浄定行者)になった。その後、泰澄は弟子とともに豊原(坂井市丸岡町豊原)と越知山を行き来した。そして、いつしか越知山から望む白い山に登り、神に会いたいと思うようになっていた。

坂本の岩屋(越前町)  
小川集落から山を登ると白瀬と呼ばれる滝があり、滝上の岩の裂け目に空洞がある。現在はそこが泰澄修行の地「坂本の岩屋」と考えられている



大谷寺遺跡出土、平安時代の墨書土器(越前町)  
越前町の山々から出土した墨書土器(写真の土器片には「神」と書かれている)



坂本の白瀬洞窟内から見つかった須恵器(越前町)  
発見場所は泰澄が少年時代に修行をしたとされる洞窟。7~9世紀のものと思われる



泰澄寺の産湯池(福井市)  
泰澄が生まれ育ったとされる麻生津(三十八社町)には泰澄寺があり、境内奥に産湯につかったという池が残る



【二の章】

# 白山開山・ 神仏との出逢い

## 貴女のいざない

36歳の頃、泰澄はまた不思議な夢を見た。夢の中で天空の紫雲から貴女が現れ「白山に来るように」と告げるのであった。泰澄はお告げに従い、弟子の隊行者、浄定行者と



もにその山へと旅立った。

大野からは宮の渡して九頭竜川を渡り、その先にある母の故郷、伊野原(勝山市猪野)に着く。すると再び貴女が現れ「私はこの東にある泉にいる。早く来なさい」といざなわれ、泰澄たちは東の林泉(平泉寺白山神社の御手洗池)に向かった。

## あの白き山頂へ

林泉で泰澄がひたすら呪文を唱えて念じていると、泉の中央の岩の上に女神が現れてこう告げた。「私はイザナミノミコト、今は妙理大菩薩と



いう。白山の山頂にいるが、いつもこの泉に来ている。よくお聞きなさい。日本はもともと神の国で、私はこの国を治めていた神の一人であった。神の山である白山は、私がこの国を治めていた時の都である。私の本当の姿は頂上

(御前峰)にあるから、そこに行き、拝みなさい」と語り、女神はたちまち姿を消した。



平泉寺白山神社境内にある御手洗池(勝山市)池に女神が現れ、泰澄に白山の山頂へ行くよう告げたとされる

## 山頂で神の 真の姿を悟る

泰澄たちは林泉の奥へと進み、三頭山、法恩寺山、小原峠を越え山頂を目指した。

頂上に着いた泰澄が、主峰の御前峰で祈っていると、その手前の緑碧池(翠ヶ池)から九つの頭を持つ九頭竜王が現れた。泰澄は「これは本当の姿ではない」と言い、さらに一心に祈念した。すると九頭竜王は消え、十一面観音が姿を現した。また、別山では小白山別山大行事が聖観音の仮の姿であることを知り、大汝峰では大己貴(オオクニヌシ)が阿弥陀如来の仮の姿で

あることを知る。泰澄は白山の3つの峰で神は仏の化身であると悟ったのだった。

## 白山平泉寺を拠点に

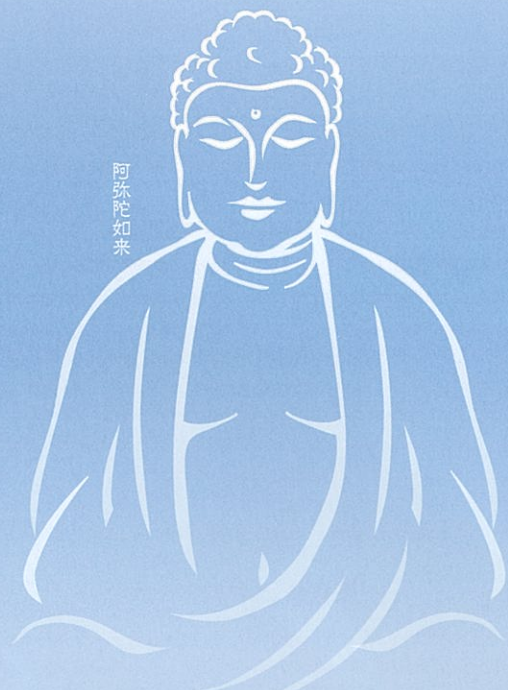
山頂で千日行をして下山した泰澄は、白山妙理大権現が現れた林泉に庵を構えた。その後、一体の白山妙理大権現の像を彫り、庵を社殿に建て直して像を祀ったのが白山平泉寺の始まりとされる。現在の御手洗池のほとりには、泰澄が植えたというご神木がある。

また、泰澄によつて開かれた道は後に「白山禅定道」と呼ばれ、今も剃刀岩や転法輪の岩屋、千蛇ヶ池などゆかりの場所を見ることが出来る。

## 十一面観音の十一の顔



十一面観音像の頭部にある十一の顔は、頭頂の仏面、3つの菩薩(ぼさつ)面、3つの瞋怒(しんぬ)面、3つの狗牙上出(くげじょうしゅつ)面、そして、後頭部の大笑面からなる。慈悲と厳しさで人々を救い、正しく導き、大笑面で人々の悪を笑いで吹き飛ばすという意味を顔のそれぞれにもつ。



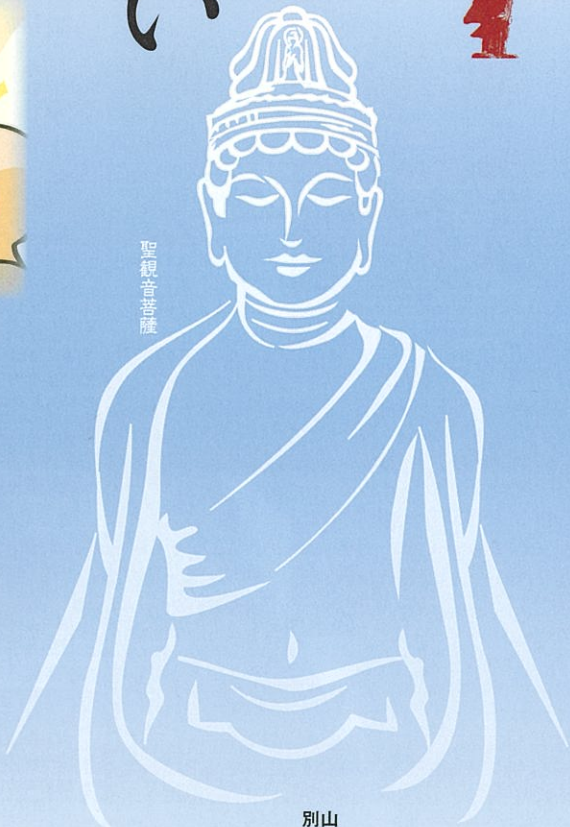
阿弥陀如来



十一面観音菩薩

大汝峰

御前峰



別山

【三の章】

# 越前若狭から 奈良の都へそして……

## 都でも活躍

養老6年(722)、泰澄は弟子と都に赴き、元正天皇の病を治し、神融禪師の名を授かる。その後も朝廷との繋がりが見られ、天平9年(737)、大流行した天然痘を封じようとの勅を受け、加持祈祷により疫病を収束させ、聖武天皇から大和尚の位を授った。

こうした朝廷との関わりは、21歳で鎮護国家の法師に命じられたことに始まり、以降、4代にわたる天皇から厚い信頼を寄せられた。ま

## 越前五山を開山

た、中央で活動する人物との交流もうかがえる。白山を訪れた行基と語り合い、都では玄昉から十一面経を授けられている。ともに奈良時代を代表する僧である。

※勅：天皇からの命令

泰澄は白山だけでなく、多くの山を開山している。越前では山頂から白山を望む遥拝の地として、越知山、日野山、文殊山、吉野ヶ岳を開山。これらは白山を含めて「越前五山」と呼ばれ、修験者による山林修行の山として



越前五山の一日野山(越前市)  
雛のような山容が美しく、紫式部の和歌にも詠まれている



ここに  
かく日野の杉むら埋む雪  
小塩の松にけふやまがへる

◎紫式部集より  
この地でこのように日野山の杉木立を埋めるように降っている雪。都の小塩山(おしおやま)の松に今日は見間違えるようです。

## 大谷寺で遷化

信仰を集めてきた。今も麓には、信仰の歴史を偲ばせる古い堂や社が鎮座する。

泰澄は晩年になると越知山の  
大谷寺に戻り、そこを入定の地と定めた。

神護景雲元年(767)には、吉備真備への書状に自分の死が3月中旬と予告。天皇は大いに悲しんだという。そして、仙窟にこもり、予告ど



大谷寺九重塔  
(大谷寺 越前町)  
泰澄廟と伝えられる総高4.40mの笏谷石(凝灰石)製の塔。台石に元亨3年(1323)の紀年銘がある(国指定重要文化財)

おり同年3月18日、座ったまま大日の定印を結び、86歳で遷化した。遺骨は大師房に葬られたという。

※遷化：高僧がこの世を去ること



金前寺(敦賀市)  
天平8年(736)に泰澄が十一面観音を本尊として創建したとされる



天徳寺(若狭町)  
泰澄が馬頭観音を刻み、岩窟に安置したのが起源とされる



飯神社拝殿(越前町)  
かつて神宮寺を有した神仏習合の歴史をもつ。所蔵の梵鐘は国宝。

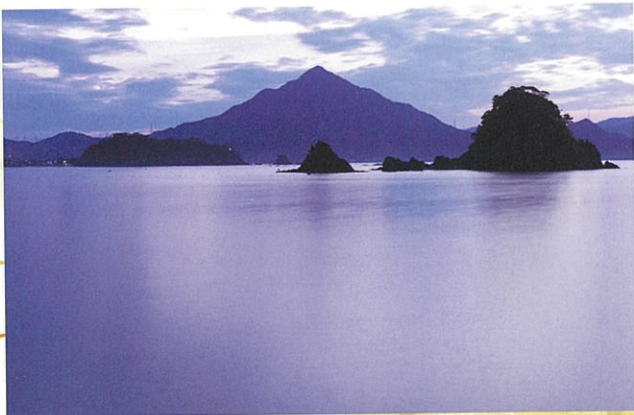
## 若狭路に残る泰澄の足跡

奈良や京の都との深いつながりがある若狭は、古刹や仏像の宝庫でもある。重要文化財の十一面観音を本尊とする羽賀寺をはじめ、「みほとけの里」といわれる若狭で、古寺や古社巡りを楽しむものお勧め。

かつて越前から都方面へ行く際は、敦賀を分岐として近江(滋賀県)経由か、若狭路と鯖街道経由が一般的であった。そのルート上にある若狭と滋賀県は、とも

一方、敦賀市から高浜町にかけての若狭路には、金前寺(敦賀市)、青蓮寺(美浜町)、芳春寺(美浜町)、瓜割の滝で知られる天徳寺(若狭町)、青葉山麓の中山寺(高浜町)が泰澄による創建と伝わる。

また、東大寺へのお水送りで知られる神宮寺(小浜市)は、若狭彦神社(小浜市)の神願寺であったという神仏習合思想の歴史を合わせ持つ。



## 祈りの歴史が降り積もる不思議な国、越前と若狭

越前と若狭には白山信仰以外にも、数多くの祈りの足跡が残る。鎌倉時代には道元禪師が越前に曹洞宗の大本山永平寺を建立。その永平寺は白山権現を守護神とする。また、曹洞宗總持寺(そうじ)の派祖瑩山(けいざん)禪師は越前(越前市)に生まれた。さらに、浄土真宗中興の祖、蓮如が吉崎御坊(あわら市)を創建。その真宗十派のうち四本山が県内にある。一方、若狭は大陸と都を結ぶ重要な位置にあり、平安時代には陰陽道の拠点が名田庄(おおい町)に置かれ、敦賀には安倍晴明ゆかりの晴明神社が今も鎮座する。

# 【四の章】時空を超えた泰澄

白山や越知山をはじめ、越前の山々は修験の聖地となり修行をする行者や僧によって白山信仰は全国へと広まっていった。

## 白山信仰と修験道の足跡

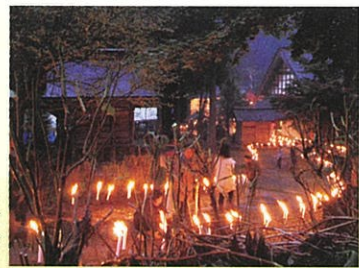
越知山のある越前町では、宗教的な意味を持つ古代の遺物が相次いで見つかった。その調査をもとに、山岳信仰と結びついた同地での修験道(山林修行)の研究が進められ、織田文化歴史館では、発掘された遺物や研究成果を展示している。

修験道は呪法を習得するために山林で修行をする。福井県内では、かなり早い時期から、越前五山を中心に山林修行が盛んに行われていたと見られている。また近年、剣神社(越前町)と周辺の発掘か

ら、剣神社の神宮寺が非常に古い時代にさかのぼると見られ、日本の神仏習合思想の初現的な地の可能性も高まっている。

## 泰澄伝承を持つ美しい仏たち

白山信仰ゆかりの仏像の中で、特に美しいとされるのが聖観音と十一面観音菩薩像。その気品に満ちた姿は見る者を魅了する。大谷寺や福通寺ほか、福井県内では、戦国乱世や一向一揆、明治の神仏分離政策にほんろうされながらも、守られてきた泰澄ゆかりの美しい仏像に出逢うことができる。



大谷寺の万灯会 (毎年11月3日 越前町) 無数の折願口ウソクが灯され、秘密護摩供祈祷などの法要が営まれる



頬にエクボがあり、優しい表情をしている

木造 十一面女神坐像 (八坂神社 越前町) 頭部は観音菩薩、体部は神像という神仏習合をまさに象徴する珍しい像 (福井県指定文化財)



修験僧のイメージ

## 日本海と太平洋の海人の守り神、白山

大海原から見える白山は、漁師や船頭にとって航海の安全を守る神でもあった。山頂は伊勢湾からも見ることができ、太平洋側の沿岸で働く人々にも信仰されていた。三重県津市には白山町があり、白山比咩神社が建立されている。不思議な話をもう一つ。北極星を軸とした日光東照宮と江戸城の位置関係は知られるところだが、白山は伊勢神宮から北極星の方向(北)にあたる。何か意味が秘められているのだろうか。そのライン上には大野市の伊勢という地があり、元伊勢だったという伝承が残る。

## 白山信仰の広がり

白山信仰は、修験の行者や僧によって広められ、貴族から庶民まで様々な人々の信仰を集めた。白山への拠点であった白山平泉寺には、木曾義仲、奥州平泉の藤原秀衡、源義経にまつわる逸話も残る。戦国武将では越前朝倉氏、甲斐武田氏の家臣であった真田氏も白山大権現を信奉していた。箱根(神奈川県)湯本温泉は、泰澄の弟子浄定が白山権現を勧請して加持祈禱を行うと温泉が湧き出たとされ、開湯の祖として祀られている。

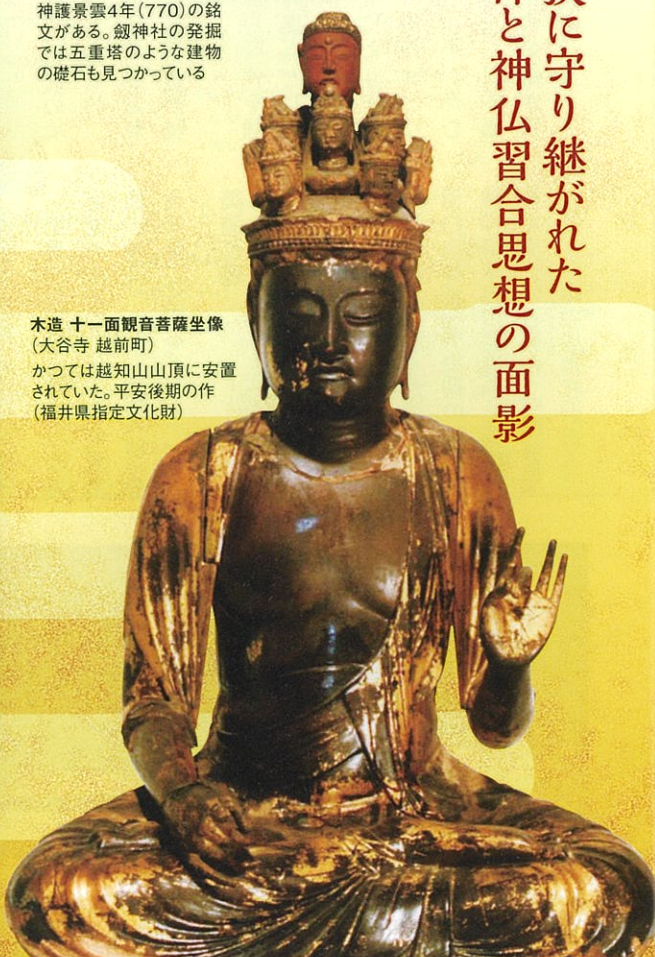
そして現代、全国に白山神社は2700社以上を数える。その開祖とされる泰澄のふるさと福井では、ゆかりの社寺が今も地域の人々に大切にされ、法要や泰澄にちなんだ催しなどが盛んに開催されている。

神社に梵鐘!? その理由は神仏習合思想!



剣神社の梵鐘(国宝) 神護景雲4年(770)の銘文がある。剣神社の発掘では五重塔のような建物の礎石も見つかっている

## 越前若狭に守り継がれた白山信仰と神仏習合思想の面影



木造 十一面観音菩薩坐像 (大谷寺 越前町) かつては越知山山頂に安置されていた。平安後期の作 (福井県指定文化財)

## 日本全国に広まった十二面観音信仰

## 白山信仰と石徹白の御師

昭和33年まで福井県に属していた岐阜県郡上市白鳥町石徹白は、神に仕える御師の村として、どの藩にも属さず、年貢免除や名字帯刀が許されていた。夏場は大勢の参詣客に宿を提供し、参拝登山の案内を務め、冬場は各地に出向いて白山信仰を広めていた。



十一面観音菩薩立像 (羽賀寺 小浜市)

羽賀寺は元正天皇の勅命による行基の創建と伝わり、この像は女帝・元正天皇の御影とされる。彩色のある衣をまとい、神仏習合思想の象徴的な十一面を頭部に戴く。平安前期の作 (国指定重要文化財)



# 三つの白山禅定道と 三馬場

修験者が白山を目指した道と  
その拠点として栄えた馬場

かつて白山の山頂に登る道は白山禅定道と呼ばれた。福井県、石川県、岐阜県それぞれに越前禅定道、加賀禅定道、美濃禅定道ができ、その拠点となる寺は、越前馬場、加賀馬場、美濃馬場と呼ばれた。



越前馬場

平泉寺白山神社と

越前禅定道

白山への道は禅定道と呼ばれ、平安時代には、越前側の入口にあたる白山平泉寺をはじめ、加賀、美濃に修験者の拠点となる馬場が開かれた。

最も泰澄にゆかりの深い越前馬場の白山平泉寺は、強大な勢力を誇るまでになり、中世の最盛期には、48社、36堂、6千の坊院があったという。しかし、天正2年(1574)、一向一揆の焼討ちで

全山を焼失。後に再興されたが、かつての広大な境内はやがて土に埋もれていった。左の境内図は、焼討ち以前の境内を江戸時代に描いたもの。中心伽藍を挟んで建ち並ぶ無数の坊院や縦横に走る道が描かれている。

再興後は、江戸時代を通して白山信仰の拠点として崇敬を集めたが、明治になると神仏分離令により寺を廃し、平泉寺白山神社となる。そして今、発掘が進む中世の境内跡には、日本最大級の宗教都市の痕跡が次第に姿を現し始めている。

加賀馬場

白山比咩神社と加賀禅定道

加賀(石川県)側からの禅定道の拠点となった泰澄創建の神社。白山比咩大神(菊理媛尊)を祀る。

美濃馬場

長滝白山神社・白山長滝寺と美濃禅定道

美濃(岐阜県)側からの禅定道の拠点となったのは、長滝白山神社(明治期の神仏分離により白山長滝寺と分離)。禅定道上の石徹白(旧越前領)には、白山中居神社がある。

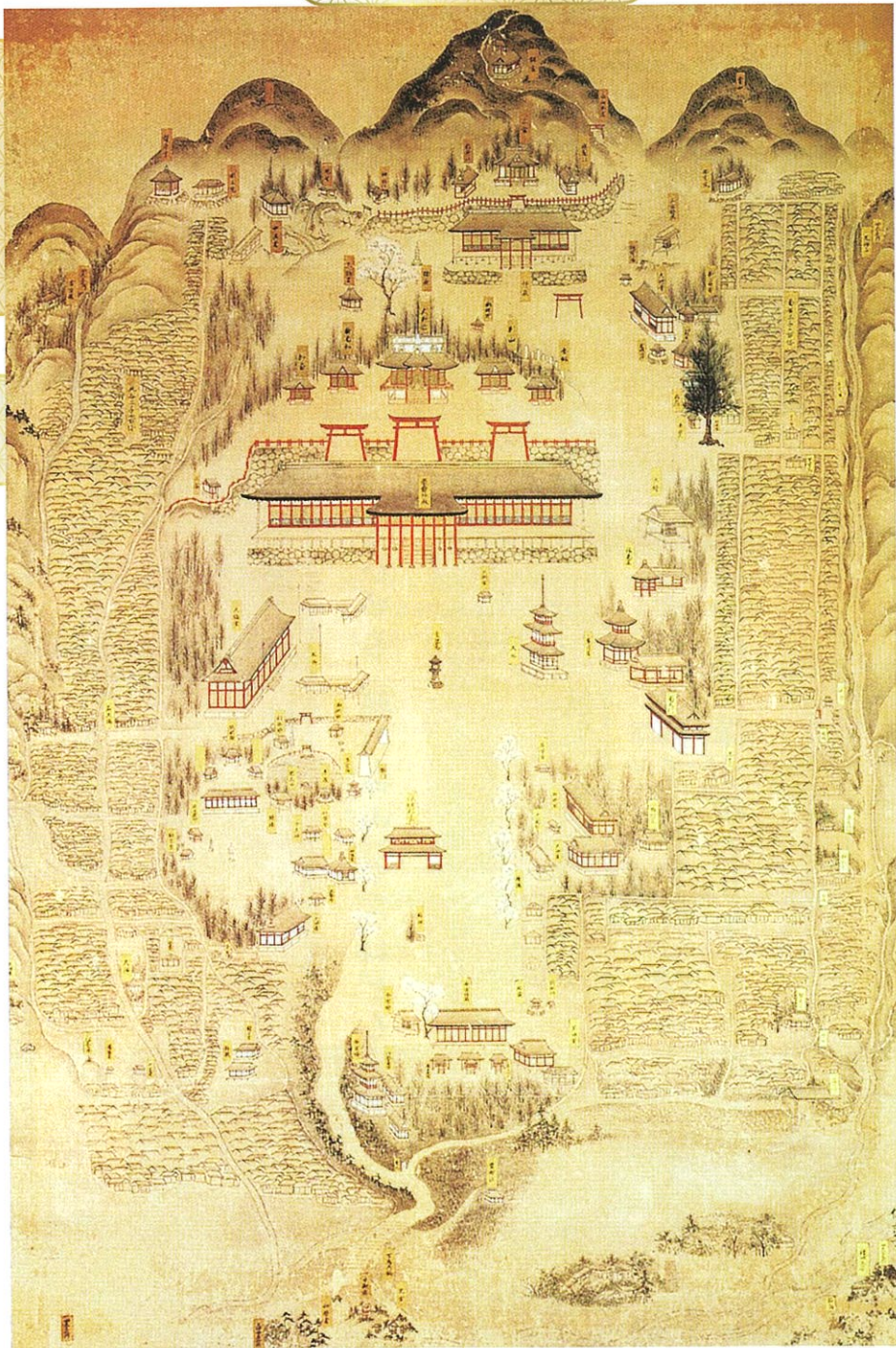


長滝白山神社  
(岐阜県郡上市白鳥町長滝138)



白山比咩神社  
(石川県白山市三宮町二105-1)

霊峰白山を  
巡る  
修験の聖地



中宮白山平泉寺境内図  
(平泉寺白山神社蔵)

江戸時代に描かれた中世の白山神社境内。焼討ち以前の中心伽藍と、両側の谷に建ち並ぶ無数の坊院の様子がよくわかる。発掘の進む南谷では、絵図どおりに石畳道や坊院跡が見つかっている

アプリで中世の白山平泉寺を見てみよう!

「平泉寺お散歩ナビ」  
配信中国!!

スマートフォンやタブレット端末で下のQRコードを読み取るか、インターネット接続⇒「平泉寺ナビ」で検索⇒「白山平泉寺お散歩ナビ」のページ⇒ダウンロード。3DビューやARマーカーなど、面白くて便利な機能で平泉寺の魅力さをさらに満喫!



AppStore



Googleplay

## ネコと白山の不思議な関係

### ☆猫の子踊りとネコクグリ

猫の子踊りは、福井・石川・岐阜3県の白山麓に古くから伝わる踊り。養蚕や焼き畑をしていた白山麓では、ネズミ対策にネコを飼い、ネコへの感謝をこめて正月やお盆に猫の子踊りを踊った。今も岐阜県の郡上踊りなどで踊られ、福井県では大野市上打波が廃村となった後も、旧村民が集まり保存会をつくり踊っている。

ネコを大切にしている白山麓の暮らしは、白峰の作作り小屋で玄関脇に設けられていたネコ専用の出入口「ネコクグリ」や、家の中にネコ専用の寝床「ネコイズミ」があったことにもうかがえる。また、白山麓のネコは、泰澄の道案内をした白峰の笹木(笹切)源五郎の子孫が連れてきたという言い伝えが残る。



# 越のしらやま文学散歩

いにしえ人が詠んだ越前の白き山、越のしらやま——。  
文人たちの感性が紡ぎ出した珠玉の言の葉に  
越のしらやまに寄せる彼らの思いを感じてみたい。

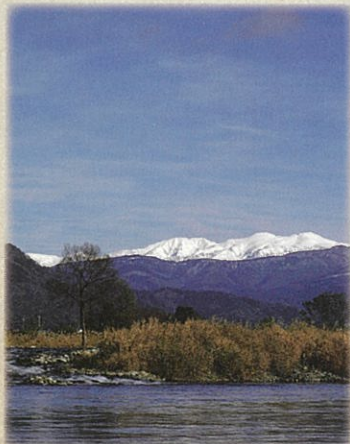
平安時代

『古今和歌集』

藤原兼輔（紫式部の曾祖父）

君がゆく越の白山 知らねども 雪のまにまに 跡はたづねむ

あなたが行く越の国の白山をまだ知らないが、雪の合間にあなたの行路のあとを訪ねて参りましょう。



勝山市内から望む白山  
手前は九頭竜川

『古今和歌集』 紀貫之

思ひやる越の白山 しらねども 一夜も夢に 越えぬ夜ぞなき

あなたに思いを馳せる私、あの越の白山はまだ実際に知りませんが、夢の中であなたに逢うために  
越えない日は一夜とてありません。

『源氏物語』

蓬生 紫式部

…雪霰がちにて、ほかには消ゆる間もあるを、朝日夕日をふせぐ  
蓬葎の陰に深う積もりて、越のしら山思ひやらるる雪のうちにて…

雪やあられが多く降り、よそでは消える時もあるのを、ここでは朝日、夕陽をさえぎるほど  
生い茂った蓬やつる草の陰に深く積って、越の白山を思わせるような雪に覆われている。  
※紫式部は、父藤原為時が越前守に着任した際、父とともに越前国で数年を過ごした。



越前町の越知山山頂から、朝霧に浮かぶ丹生山地や日野山の山並み  
越しに白山連峰のご来光を望む

『枕草子』

職の御曹司におはします頃、西の廂にて 清少納言

…「しら山の観音、これ消えさせ給ふな」と祈るも、物狂ほし。…

師走に大雪が降り、庭に雪山を作った際、女房たちと清少納言がいつまで雪山が残るか予想をして張り  
合った。清少納言は、自分の予想が無謀だったと思ったが、引っ込みがつかず、白山の観音に雪を消えさ  
せないでと祈ったものの、常軌を逸していると自嘲するかのよう語っている。

鎌倉時代

『傘松道詠』

道元禪師

我が庵は越の白山 冬籠り 氷も雪も 雲かかりけり

私の庵は越の白山、冬の間はじつとそこに籠っている。あたりは氷が張り、雪が積もり、  
雲がかかっている。

江戸時代

『柞原集』

松尾芭蕉

風かざる越の白嶺を 国の華

元禄2年(1689)、『奥の細道』の旅で北陸を巡る際、白山の姿に感銘を受けて詠んだ句。  
白山の美しい嶺を国の華(花)と賞讃している。

『志濃夫廼舎歌集』

橘曙覧

ゆるぎけむ白嶺おろしに いざいざと 吹き立てられて 君も来つらむ

白山を揺るがして吹き下ろしたであろう白嶺おろしに押されて、君も私のところへやってきたのであろう。



法恩寺山(勝山市)山頂より望む冬の白山

# 山



6 <sup>もとお ちさん</sup> 元越知山より(越前町)

MAP→P37 C-1

泰澄が晩年を過ごした大谷寺の背後にあり、かつて行者や僧が白山を遥拝(ようはい)した場所でもある。



5 <sup>もんじゅさん</sup> 文殊山より(福井市・鯖江市)

MAP→P33 D-5

「越前五山」と呼ばれる信仰の山の一つ。泰澄が開山したと伝わる。



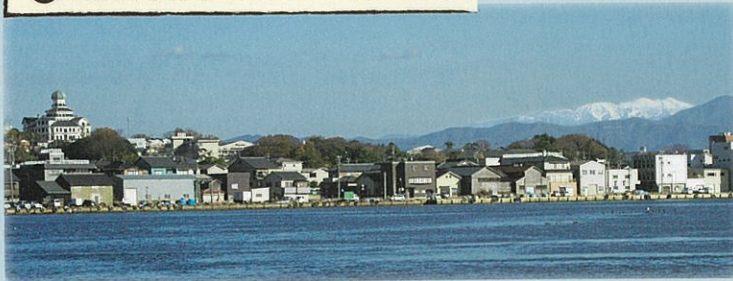
梅丈岳の山頂からは、彼方の白山までもが借景の若狭湾や三方五湖の絶景を楽しむことができる。

MAP→P41 D-2

白山麓に発した九頭竜川は、三国で日本海に注ぐ。三国はその河口を港として発展し、江戸時代には北前船で大いに繁栄した。

MAP→P33 C-2

8 三国 九頭竜川河口より(坂井市)



9 <sup>おぐるい</sup> 小黒飯の海岸より(高浜町)

白山は日本海の航行の目印であり、船頭の守り神でもあった。海岸から眺める白山は、そうした歴史を思い起こさせる。

MAP→P41 A-4



# 海

敦賀市以南では海の彼方に輝く白山を望むことができる。ただし、天候とあなたの運次第。白山の神仏のご加護を...



1 <sup>あかり</sup> 明里橋より(福井市)

福井市内では、明里橋のほか足羽山やビルの高層階、屋上駐車場などからも白山を望むことができる。

MAP→P33 C-4



MAP→P33 C-3

福井県随一の穀倉地帯、坂井平野からも白山を眺めることができる。

2 春江 ゆりの里公園より(坂井市)

白山の山頂周辺は毎年11月初旬には初冠雪を迎え次第に純白の山となり1月〜6月頃まで低空に雲がなければ白く際立つ白山を堪能できる。



3 勝山恐竜橋より(勝山市)

左側の卵形ドームは福井県立恐竜博物館。白山麓は恐竜化石の宝庫で、約8割が福井県で見つかっている。

MAP→P28 E-2



4 <sup>きたごう</sup> 北郷町より(勝山市)

平地では最も白山に近く、ダイナミックな山容が夕日を受けて染まる眺めは圧巻。

MAP→P29 D-1-2

白山のビュースポットはこのほかにも県内の各地に点在。ぜひ、あなたのお気に入りの場所を見つけてみてはいかが。



# 里

越前若狭から望む美しい白山の姿

# 越のしらやま 祈りの遠望

福井県内の山や平野から、また、海越しに望む白き山。その表情は場所や季節、時間によって変化し心が洗われるような美しさを見せる。

# 泰澄伝説の旅 祈りのふるさと ふくい巡礼



『泰澄和尚伝記』をはじめ  
古い物語から社寺の縁起や  
全国各地に残る言い伝えまで  
さまざまに語り継がれてきた泰澄。  
そのふるさと福井には、  
泰澄への敬愛の念と白山の神仏への  
敬けんな祈りの心が今も息づく。  
そうした福井の素朴な祈りの原風景に  
人の心と暮らしに寄り添ってきた  
泰澄の面影と信仰の歴史を訪ねてみよう。



木造泰澄及二行者坐像 国指定重要文化財  
越知山大谷寺開山堂に伝えられた三尊一具の像  
(現在は文化庁所蔵)。泰澄像内には室町時代の  
明応2年(1493)5月の墨書がある。

## 泰澄 白山登拝道

## ～泰澄が出逢った 女神を求めて～

日ごとに募る白山への想い——  
そして不思議な力に導かれ、泰澄はその頂上を目指した

泰澄が美しい女神と出逢ったときの感動を求め、  
あなたもガイドブックを片手にこの地を巡ってみませんか。  
伝説に彩られた素敵な出会いが  
あなたを感動のベールで包み込むことでしょう。



福井県内 17 市町にある白山神社および白山社は  
300 社余りを数える。もっとも多いのは福井市で  
100 社を超え、次いで勝山市、大野市、坂井市、  
越前市と続く。  
(福井県神社庁ホームページ「神社のご紹介」より)

# 勝山市 大野市 永平寺町

白山信仰の歴史が色濃く残る

福井県東部の山あいに広がる、奥越前エリア。白山に続く「白山禅定道」のひとつ「越前禅定道」の越前馬場であった平泉寺白山神社をはじめ、泰澄ゆかりの史跡が数多く残る。中世の遺跡が広大な森の中に点在する白山平泉寺、白山を源流とする清らかな九頭竜川、白山神社を守護神とする山深い大本山永平寺など、遠い時代の物語を今に伝える史跡や自然たち。かつて泰澄が白山を目指して歩いた風景には、今も不思議なエネルギーが宿り、静謐なる祈りの心へと人々を誘ってくれるだろう。

## 勝山市 平泉寺白山神社

旧境内で、泰澄を偲ぶ。

平泉寺は養老元年(717)、泰澄が白山の女神と出会ったことに始まり、白山信仰の越前側の拠点として栄華を誇った。旧境内には、隆盛を極めた当時の名残が点在している。参道に広がる杉林。室町時代頃に造られた泰澄大師廟。白山の神が現れ、平泉寺の地名の由来となった御手洗池。一向一揆の焼き討ちを生き延びた樹齢数百年の大杉など。歴史の痕跡がそこかしこに見受けられ、ロマンにあふれている、いにしえの風景を今も眺めることができる。



【住所】勝山市平泉寺町平泉寺  
【TEL】0779-88-1591  
【時間】境内見学自由  
【料金】白山神社境内 国名勝「旧玄成院庭園」は拝観料50円 MAP→P28 E-2

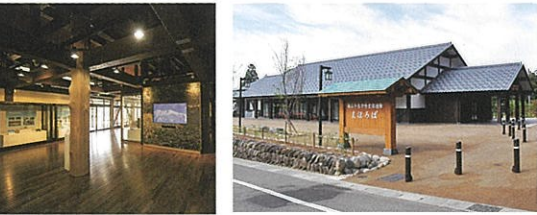
木漏れ日にしっとり濡れた苔が映える、幽玄な旧境内。日本の道百選、歴史の道百選、かおり風景百選、美しい日本の歴史的風土百選など4つの日本百選に選出されている。

### 白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

国史跡白山平泉寺旧境内にある総合案内施設。平泉寺の歴史や現在の発掘状況、史跡散策の見どころをハイビジョン映像やタッチパネル、出土遺物などでわかりやすく紹介している。白山の歴史・自然・文化に関することも展示され、白山信仰や泰澄・越前禅定道についての解説も。また、体験学習や休憩施設としての機能も併せ持っている。

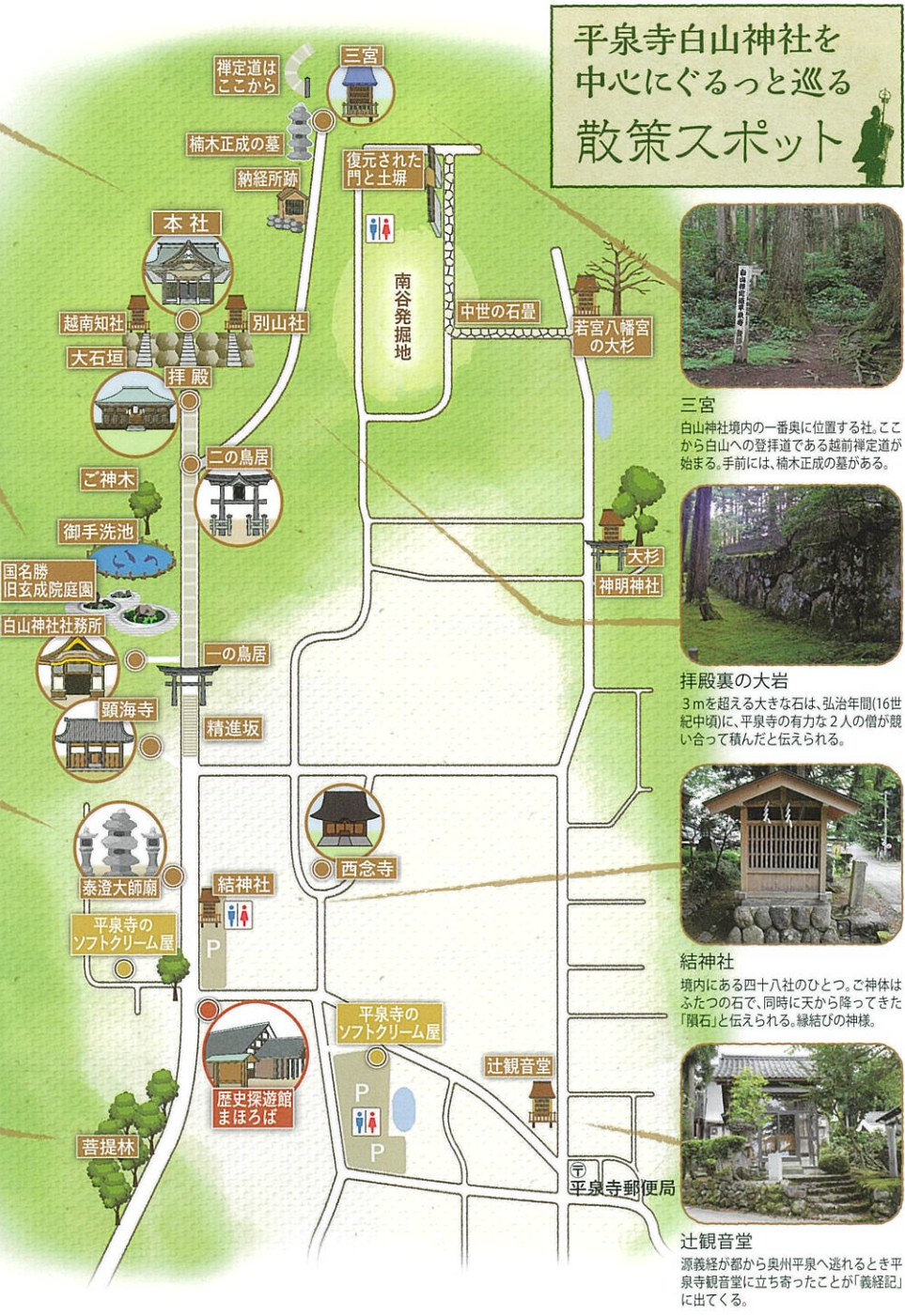


僧坊跡から出土した中国元時代の青白磁の観音像をはじめ、貴重な遺物を展示。

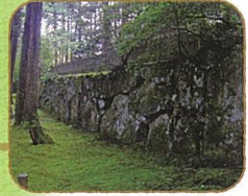


【住所】勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12  
【TEL】0779-87-6001  
【時間】9:00~17:00 【休み】年末年始 【料金】無料 MAP→P28 E-2

### 平泉寺白山神社を中心にごるっと巡る 散策スポット



三宮  
白山神社境内の一番奥に位置する社。ここから白山への登拝道である越前禅定道が始まる。手前には、楠木正成の墓がある。



大杉  
神明神社



拝殿裏の大岩  
3mを超える大きな石は、弘治年間(16世紀中頃)に、平泉寺の有力な2人の僧が競い合って積んだと伝えられる。



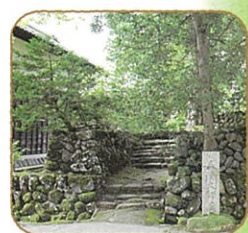
結神社  
境内にある四十八社のひとつ。ご神体はふたつの石で、同時に天から降ってきた「願石」と伝えられる。縁結びの神様。



本社  
寛政7年(1795)、福井藩主の寄進で建立。本社右手には別山社、左手には越南知社があり、白山三山の神が祀られている。



国名勝 旧玄成院庭園  
江戸時代の平泉寺の中心的な坊院で、現在は社務所になっている。庭園は室町幕府管領細川高国がつくったとされる。



泰澄大師廟  
泰澄の供養塔で、室町時代頃につくられた五重の層塔。泰澄の墓は越前町大谷寺にもあり、九重の層塔が建てられている。



参道と菩提林  
参道の石畳は、多くの僧が九頭竜川から運んだものと伝えられる。両側には、杉やブナ、ケヤキなどの菩提林が生い茂っている。

国史跡白山平泉寺旧境内(南谷発掘地)で日本最大の中世宗教都市にタイムスリップ! 平安時代には比叡山の末寺となり、中世には48社、36堂、6千坊が建ち並び、北陸有数の勢力を誇った。しかし、戦国時代に向一揆で全山を焼失。現在、江戸時代に建てられた本殿などが残っている。平成元年(1989)から始まった遺跡調査では、まだ全体の約1%しか発掘されておらず、今後の調査に期待が寄せられている。



僧坊の門と土塀が復元され、史跡の整備が進められている。



桃木峠の大杉

泰澄が白山に登頂するとき、箸の代わりに杉の小枝を使い、それを地面にさしたものが大杉になったと伝えられる。根元の祠には、小さなお地蔵がある。

【住所】大野市堂嶋  
【TEL】0779-67-1111 (大野市阪谷公民館) MAP → P28 G-3



白山神社の大カツラ

根回り15mと堂々たる風格を醸している。泰澄が白山に登頂するとき、この地で食事に使った箸を大地にさしたものが巨木になったと伝えられる。

【住所】大野市下打波  
【TEL】0779-65-6805 (大野市五箇公民館) MAP → P28 G-4

能郷白山



大野市と岐阜県揖斐川町・本巣市境にまたがる、越美山地の最高峰。標高1,617m。泰澄が白山山頂から見渡したとき、この山が目にとまって白山権現の分祀を思いつき、養老元年(717)に白山神社を創建し、山頂に白山権現をまつる社を建てたと伝えられている。

【住所】大野市温見  
【TEL】0779-66-1111 (大野市商工観光振興課)

白山麓の神子(かんこ)踊

白山麓の大野市上打波の伝統芸能に「神子踊」(福井県指定無形民俗文化財)がある。その起源は白山を開いた泰澄に披露したとの説もあり、集落と白山との深い関係をうかがわせる。過疎化により廃村となった現在も、旧村民が踊りの保存会を作り、地域に受け継がれた誇りある踊りが大切に守られている。

篠座神社



泰澄が、白山登拝前に、清水が湧き流れる篠座で十日ほど過ごしたと言われている。登拝後、この地に戻ってきた泰澄は、空からのお告げを受けて、祠を建てたことが、篠座神社の始まりという言い伝えがある。今でも、境内に湧き出る御霊泉は、眼病に良い水として重宝されている。

【住所】大野市篠座42-5  
【TEL】0779-65-1455 【時間】境内見学自由 MAP → P28 E-4



刈込池

泰澄が白山を開山したとき、山上に住む三千匹の大蛇の内、一千匹を刈込池に封じ込めたという伝説が残る。四季折々、神秘的な景色が広がる。

【住所】大野市上小池  
【TEL】0779-66-1111 (大野市商工観光振興課) MAP → P28 G-2

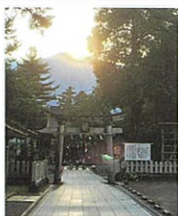


鳩ヶ湯

池で山鳩が何度も水浴びして飛び立つのを泰澄が見て調べてみると、温泉とわかり、「鳩ヶ湯」と名付けたとされる。昔懐かしい風情が漂う。

【住所】大野市上打波6-2 【TEL】0779-65-6808(営業期間中)  
【時間】立寄入浴 11:00~17:00 (土日・祭日は10:00~) 【休み】冬季休業  
【料金】大人/600円、60歳以上/500円 MAP → P28 G-3

ご神体山と本殿、鳥居を結ぶ神秘的な光



篠座神社は、西にある飯降山(いふりやま)を信仰の対象として、本殿が山を背にして建つ。彼岸の中日の日没には、太陽が山と本殿と鳥居の真上に沈み、参道から見ると、まばゆい光がそれらを一直線に結び、神秘的な光景に包まれる。年2回だけのわずかな時間ではあるが、不思議な光のページェントを見ようと訪れる参拝者も多い。

岩屋観音の大杉



白山信仰の拠点寺院 豊原寺から、白山への登拝路沿いに位置した霊場と伝えられている。境内の一角にある巨岩の岩陰に如意輪観音、十一面観音、聖観音の三体を安置したことが始まりとされる。境内の大杉は幹回り17mと県内で一番太く、市の文化財に指定されている。

【住所】勝山市北郷町岩屋  
【TEL】0779-88-8117 (勝山市観光政策課) MAP → P29 D-1



泰澄御生母廟

泰澄の母は「伊野姫」と呼ばれ、伊野原(勝山市猪野)の出身と伝えられる。層塔を中心に四基の五輪塔があり、中心の層塔はかつて七重だったという。(勝山市指定文化財)

【住所】勝山市下毛屋  
【TEL】0779-88-8117 (勝山市観光政策課) MAP → P28 E-2



蔵王山(吉野ヶ岳)

泰澄が開山したとされる越前五山のひとつ。本殿には蔵王大権現が祀られている。標高547m。奥の院からは、白山連峰の姿を望むことができる。

【住所】吉田郡永平寺町松岡上吉野  
【TEL】0776-61-1188 (永平寺町観光物産協会) MAP → P29 B-2

白山は世界じゅうにある!?

韓国には白山と名のつく小白山(ソベクサン)、太白山(テベクサン)がある。また、中国と北朝鮮との国境付近には、中国名で長白山(チャンベクサン)、北朝鮮では白頭山(ベクトウサン)と呼ばれる山脈がある。さらにフランスとイタリアの国境にあるモンブランも白い山。また、アフリカのキリマンジャロは、山を意味する「キリマ」と、白の「ンジャロ」が語源とされる。

大矢谷白山神社



境内に入ると、神社の拝殿に迫りくるような約20mを超える巨大な岩塊に圧倒される。この岩塊は、数千年前に勝山市東部にある経ヶ岳と保月山で起こった大規模な山体崩壊によって運ばれてきたもの。この岩塊は、泰澄が泊まった「一の宿」という言い伝えがある。

【住所】勝山市平泉寺町大矢谷  
【TEL】0779-88-8126 (勝山市ジオパークまちづくり課) MAP → P28 F-3



宮の渡し跡

泰澄が白山に向かったとき、この渡し場から宮(箱)のふたに乗って九頭竜川を渡ったことから名付けられたという伝説が残っている。

【住所】勝山市遅羽町下荒井  
【TEL】0779-88-8117 (勝山市観光政策課) MAP → P28 E-3

曹洞宗大本山永平寺



寛元2年(1244)、道元禅師によって開かれた曹洞宗の大本山。道元が宋から帰国する前夜、白山権現が写本を助けたという伝承がある。白山権現は永平寺の守護神・鎮守神とされ、寺の中には白山連峰から連なる湧水「白山水」がある。毎年夏になると、永平寺の僧侶が白山に参詣し、般若心経を読経している。

【住所】吉田郡永平寺町志比5-15  
【TEL】0776-63-3102  
【拝観時間】8:30~16:30 【休み】不定休  
【料金】拝観料/500円、坐禅体験/1,000円(要予約) MAP → P29 C-2

勝山市 大野市 永平寺町

泰澄白山信仰ゆかりの おすすめコース

- 平泉寺白山神社
大矢谷白山神社
篠座神社
曹洞宗大本山永平寺

INFORMATION

Table with train and bus routes between 福井駅, 勝山駅, 永平寺駅, and 大野駅. Includes JR, Keio, and bus services with travel times.



凡例 (Legend) listing symbols for scenic spots, recommended spots, white mountain spots, roads, and railroads.

おすすめスポット情報

福井県立恐竜博物館 (Fukui Prefectural Dinosaur Museum) details including location, phone, and hours.

旬菜食祭 花月楼 (Seasonal Cuisine Festival Hangetsu) details including location, phone, and hours.

六呂師高原 (Rokurohira Plateau) details including location, phone, and hours.

越前大野城 (Echigo Ono Castle) details including location, phone, and hours.

永平寺町魅力発信交流施設えい坊館 (Ei-hokkan) details including location, phone, and hours.

勝ち山ポッカケ (Kachi-yama Pokkake) details including location, phone, and hours.

名水そば (Nami no Soba) details including location, phone, and hours.

油桐の葉っぱ寿司 (Aburahi no Happa Sushi) details including location, phone, and hours.



泰澄大師  
白山開山300年

AREA GUIDE

# 白山水系が潤す川運の要地 福井市 坂井市 あわら市



白山水系の九頭竜川の水が大地を潤す、福井平野エリア。縄文時代の遺跡が各地にあり、古くから人々の営みがあったことがわかっている。泰澄生誕の地という伝説が残る「泰澄寺」をはじめ、白山平泉寺の僧の名に由来するとされる「東尋坊」や古くから白山信仰の地であった「吉崎御坊」など、泰澄の名残を感じさせる様々な史跡が点在する。のどかな田園風景を眺め日常のわずらわしさを忘れ、穏やかな想いに満たされる瞬間は、時空を超えて泰澄の祈りに触れる瞬間なのかもしれない。

## 福井市

### 一乗谷朝倉氏遺跡

戦国時代の栄華を偲ぶ。

戦国時代、100年余に渡り越前を支配した朝倉氏は、白山権現に帰依し、白山平泉寺を祈願所としていた。朝倉氏は織田信長による越前侵攻で滅び、城下町も焼失したが、現在、武家屋敷跡や町屋跡、道路などが発掘されている。その貴重さから、金閣寺などと並ぶ国の三重指定(特別史跡・特別名勝・重要文化財)を受け、遺跡の一面には、当時の石垣や礎石そのままに武家屋敷や町屋を建てた復原町並も。また、近くにある一乗滝は、泰澄が修行し、滝を開いたと伝わる。



【住所】福井市城戸ノ内町28-37  
【TEL】0776-41-2330(朝倉氏遺跡保存協会)  
【時間】9:00~17:00(入場は16:30まで)  
【休み】年末年始(12月28日~1月4日) 【料金】復原町並/210円  
(一乗谷朝倉氏遺跡資料館との共通券230円) MAP→P33 D-5

朝倉義景の菩提を弔うため、後に建立された寺・松雲院の門で、朝倉館跡の正面に位置する朝倉氏遺跡のシンボル。

## 泰澄寺



養老元年(717)、泰澄が生誕した地に、両親のために創建したと伝えられている。本尊は大日如来と十一面観音像で、十一面観音像は天平8年(736)に泰澄が自ら彫ったものを安置したと言われている。境内には、泰澄の産湯の池や座禅石などゆかりの史跡が残っている。

【住所】福井市三十八社町11-12  
【TEL】0776-38-0904  
【時間】境内見学自由 MAP→P33 C-5

## 大安禅寺



臨済宗妙心寺派の寺院。福井藩第4代藩主 松平光通が、万治2年(1659)に松平家永代菩提寺として建立。この地は、泰澄が創建したとされる竜王山 田谷(でんこう)寺の跡地にあたる。

【住所】福井市田ノ谷町21-4 【TEL】0776-59-1014 【拝観時間】9:00~17:00  
(受付は16:30まで) 【休み】無休(法話別) 【料金】拝観料/500円、  
座禅体験/400円(毎月第2・第4金曜日 18:30~21:00・要予約) MAP→P33 C-3

### 泰澄・白山信仰に関する書籍

- 『越知山泰澄の道』泰澄の足跡編集会編
- 『えほん泰澄さま』あさひ泰澄塾
- 『白山平泉寺物語』(歴史漫画)平泉寺町まちづくり推進協議会
- 『神と仏』越前町織田文化歴史館
- 『福井の仏像』福井市立郷土歴史博物館
- 『泰澄ゆかりの神仏』福井県立歴史博物館
- 『季刊 福楽』Vol.52~54掲載
- 笠松雅弘執筆「白山信仰の源流をさぐる」など

## 坂井市

### 瀧谷寺



たきだんじ  
永和元年(1375)の創建。本尊の薬師如来像は泰澄の作と伝わる。国の名勝指定の庭園をはじめ、宝物殿の国宝や仏画・古文書など見どころが多い。

【住所】坂井市三国町滝谷1-7-15 【TEL】0776-82-0216  
【拝観時間】18:00~17:00(11月1日~2月末日は16:30まで)  
【料金】大人500円、中高生300円、小学生200円 MAP→P33 C-2

### 豊原三千坊史料館



とよはらさんぜんぼうしりょうかん  
豊原寺は大宝2年(702)に泰澄によって開かれ、中世には白山平泉寺と並ぶ越前僧兵の中心的存在として栄えた。戦国時代に一向一揆の本拠地となり、織田信長の軍勢に焼き払われた。史料館では、豊原寺の仏像や半鐘のほか、史跡内の歴代院主の墓の拓本や書画などを展示している。

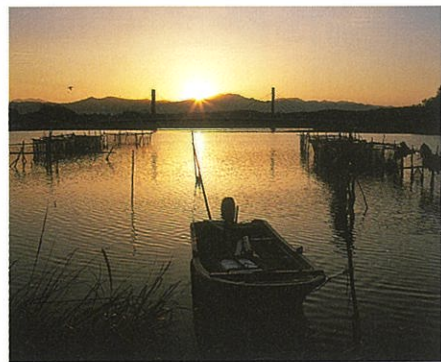
【住所】坂井市丸岡町田屋  
【TEL】0776-66-6188 【時間】9:00~17:00(要予約)  
【料金】200円 MAP→P33 D-3

### 校歌に唱われる白山

福井県内には、校歌に白山が登場する学校がいくつもある。特に坂井市では小・中・高校合わせて4割近くの学校で唱われ、以下、多い順に勝山市、あわら市、福井市と続く(2007年調べ)。地域を代表する山として、それぞれに多彩な表現で唱われている。

## あわら市

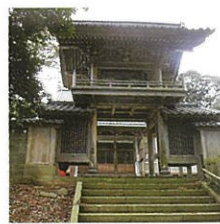
### きたがたこ 北潟湖



福井県の北端部にある汽水湖。周辺には、アイリスブリッジや北潟湖畔公園、サイクリングロードなどがある。風力発電の風車が悠然と並ぶ湖畔の丘陵地は、古来より白山の姿を望むことができる聖地でもあったと言われている。今も近くにあるあわら夢ぐるま公園の展望デッキからは、北潟湖から白山まで一望できる。

【住所】あわら市北潟  
【TEL】0776-78-6767(あわら市観光協会) MAP→P33 D-1

### あんらくじ 安楽寺

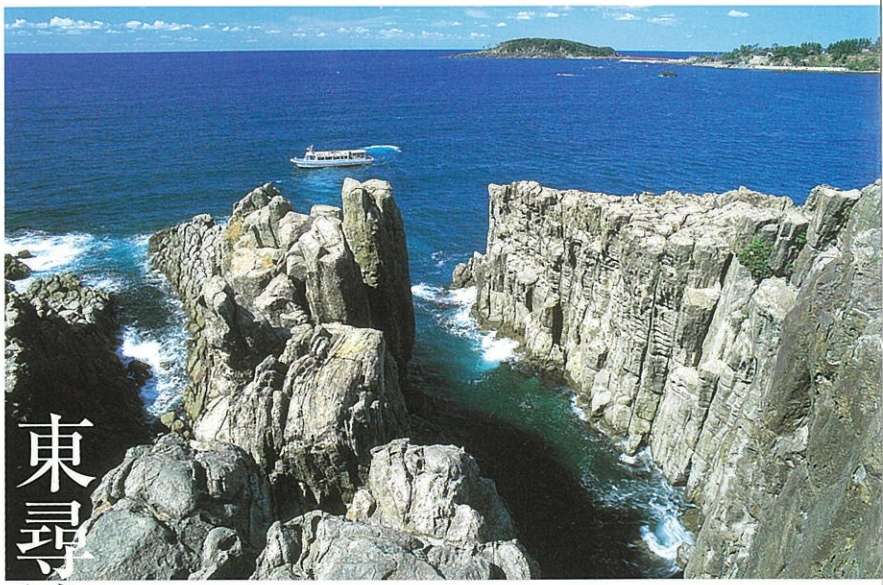


養老2年(718)、泰澄は紫雲に導かれてこの地を訪ねた。すると、老翁が現れ「自分は北天の守護の祇園牛頭天王(ぎおんごずてんのう)である」と言い、人々を救うために寺を建立するよう言われたのが始まりとされる。

【住所】あわら市北潟42-12-2  
【TEL】0776-79-1933  
【時間】境内見学自由 MAP→P33 D-1

### その名は白山平泉寺の僧に由来

激しい波の浸食によってつくられた、迫力ある断崖絶壁が続く奇勝。国の天然記念物・名勝。名前の由来は、白山平泉寺の暴僧であった東尋坊によるもの。昔、東尋坊がこの地で酒盛りをしていたとき、恋のライバルだった僧



## 東尋坊

これほどの規模で広がる輝石安山岩の柱状節理は、日本でここだけ。日本海に沈む夕日が美しいことでも知られる。

【住所】坂井市三国町安島  
【TEL】0776-82-5515(坂井市三国観光協会) MAP→P33 C-1

によって泥酔させられ、海へ突き落とされた。それから49日にわたって海は大荒れとなり、この地が「東尋坊」と呼ばれるようになったという伝説がある。



# 福井市 坂井市 あわら市

泰澄白山信仰ゆかりの  
おすすめコース

- 泰澄寺
- 一乗谷朝倉氏遺跡
- 県立歴史博物館
- 豊原三千坊史料館
- 東尋坊

## INFORMATION

[あわら市・坂井市方面]

電車(JR)		
JR福井駅	15分	JR芦原温泉駅
北陸本線 金沢方面行		
電車(えちぜん鉄道)		
えちぜん鉄道福井駅	41分	えちぜん鉄道三国港駅
あわら湯のまち駅		
えちぜん鉄道三国芦原線 三国方面行		
バス(京福バス)		
JR福井駅	42分	丸岡城
京福バス 丸岡線		

※ 市町内スポットへは各駅よりバス・タクシーあり



福井市・坂井市・あわら市

### おすすめスポット情報

**福井県児童科学館** (エンゼルランドふくい)

プラネタリウムや全天周映画、宇宙・科学等の参加体験型展示や巨大恐竜遊具など楽しさいっぱいの施設。

エンゼルランドふくい 検索

坂井市春江町東太郎丸3-1  
☎ 0776-51-8000  
🕒 9:30 ~ 17:00 料 100円 (高校生以下は無料)  
📅 休 月曜、年末年始 春休み・GW・夏休み 昼休み中は無休  
📍 P 大10台、普360台 MAP → P33 C-3

**名勝 養浩館庭園**

福井藩主松平家の別荘で、風雅な屋敷と広大な池からなる、江戸中期を代表する名園。国の名勝庭園に指定。

養浩館 検索

福井市宝永3-11-36  
☎ 土日 0776-21-0489 (福井市立歴史博物館)  
☎ 平日 0776-20-5367 (福井市文化振興課)  
🕒 9:00 ~ 19:00 11月10日まで 休 年末年始  
料 一般 210円 歴史博物館との共通券 340円

**丸岡城**

天正4年(1576)建造の天守は、現存最古の建築様式を誇る。別名「霞ヶ城」と呼ばれる、桜に浮かぶ春の姿は必見。

丸岡城 検索

坂井市丸岡町霞町1-59  
☎ 0776-66-0303  
🕒 8:30 ~ 17:00 休 無休  
料 大人 450円 小人 150円 「一筆啓上日本一短い手紙の館」へも入場可

**あわら温泉 芦湯**

数寄屋造りの、北陸一上質な芦湯。福井県産笏谷石を使用した5種類の浴槽で、2種類の源泉かけ流しを楽しむ。

あわら温泉 検索

あわら市 温泉1丁目1  
☎ 0776-78-6767  
🕒 7:00 ~ 23:00 休 無休  
料 無料 タオル自販機 300円 (持参可)  
P 普20台 MAP → P33 C-2

### グルメ情報

**ソースカツ丼** (福井市他)

きめ細かいパン粉でカラリと揚げたカツに、甘辛いソースをたっぷり含ませた、福井県人のソルフード。

福井 ソースカツ丼 検索

**朝倉膳** (福井市)

越前朝倉氏五代城主、朝倉義景が後の将軍足利義昭を京より迎えてもてなしたとされる祝いの膳を再現した郷土料理。

朝倉膳 検索

**油あげ** (坂井市)

福井県は油あげの消費量が日本一。坂井市には油あげ専門のレストランもあるなど、県内で広く親しまれている。

竹田 油あげ 検索

**あわら温泉屋台村 湯けむり横丁** (あわら市)

海鮮やラーメンなど、店主との語りや地元客とのコミュニケーションを楽しむながら、地産地消グルメが味わえる。

MAP → P33 C-2 福井 湯けむり横丁 検索



# 越前町 越前市 鯖江市 池田町 南越前町



古代からの宗教文化を今に受け継ぐ

かつて越前の国府や宿場町などとして栄えた、丹南地域。若い泰澄が修業を重ね、白山に導かれた越知山や越知神社、大谷寺をはじめ、泰澄に縁の深い史跡が多い。また、この地域は風土に根づいたものづくりの精神を古くから受け継いでおり、越前和紙、越前漆器、越前打刀物といった伝統工芸品をはじめ、国内シェア9割を誇る眼鏡づくりなど、ものづくりの里として全国から注目を集めている。泰澄の足跡を辿りながら、職人の魂が宿る伝統工芸の技にもぜひ触れてみてほしい。

## 越前町

# 越知山

若き泰澄の修業霊場

丹生山地に位置する、標高612.8mの越知山。泰澄が幼少の頃に夢のお告げによって導かれ、青年時代まで修行をしたとされる北陸最古の修験霊場。日本百霊峰にも選ばれている。越知山から六所山にかけての登山道沿いに安置された江戸時代の地蔵像群を同町の「泰澄塾」が再整備。約6kmにわたる祈りの道が、往時の姿を取り戻している。軽登山にも適しており、泰澄に想いをよせながら散策を楽しんでみたい。



【住所】丹生郡越前町 展覧台からは、快晴なら白山はもちろん、福井平野、日本海、さらに敦賀湾まで臨むことができる。  
【TEL】0778-34-8720(越前町役場商工観光課) MAP→P37 B-1



## 大谷寺

持統天皇6年(692)に泰澄が開創したと伝えられる古刹。本尊は、十一面観音菩薩・聖観音菩薩・阿彌陀如来の越知山三所大権現。白山を開いた泰澄は、神護景雲元年(767)、大谷寺仙窟において、座禅を組んだまま86歳で遷化したと言われている。境内に祀られている国指定重要文化財の九重の石塔は、泰澄の墓であると伝えられる。

【住所】丹生郡越前町大谷寺42-4-1  
【TEL】0778-34-5045  
【拝観時間】境内見学自由 MAP→P37 C-1



## 越知神社

越知山の頂上付近には、奥の院や大師堂、社務所、日吉神社、本殿、拝殿があり、そのなかの本殿が越知神社にあたる。泰澄が仏像をつくり、山頂に社堂を建立して越知山三所大権現として祀ったとの社伝が残る。天正年間の戦火で焼失したが、江戸時代に福井藩祖・結城秀康公の祈願所として栄える。境内には泰澄ゆかりの史跡が残る。

【住所】丹生郡越前町大谷寺  
【TEL】0778-37-1234(越前町観光連盟)  
【時間】境内見学自由 MAP→P37 B-1

## 朝日観音福通寺



養老元年(717)、泰澄により開かれた古刹。霊木より彫り上げたという「朝日観音」の伝説を持つ正観世音菩薩や千手観音などが安置されている。また、晴天の時には、はっきりとした白山を遥拝できる。

【住所】丹生郡越前町朝日7-61  
【TEL】0778-34-0621 【時間】境内見学自由 MAP→P37 C-2



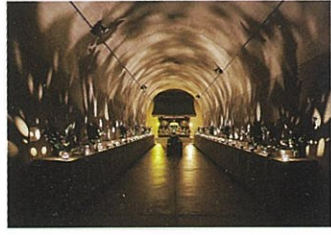
## 八坂神社

やさか 安置される木造十一面女神坐像は、頭部は十一面観音、体部は女神という珍しいもの。これは白山妙理大権現の本地が十一面観音であることによると言われる。

【住所】丹生郡越前町天王18-24  
【TEL】0778-34-8720(越前町役場商工観光課)  
【時間】境内見学自由 MAP→P37 C-1

## 玉川洞窟観音

昔、漁師の網にかかった、泰澄の作と言われる十一面観音を祀ったもの。越前西国三十二番札所で、鳥居をくぐるとトンネル内に本殿がある。



【住所】丹生郡越前町玉川  
【TEL】0778-34-8720(越前町役場商工観光課)  
【料金】拝観料/100円 MAP→P37 A-2

## 泰澄の母と鯖江立待伝説

鯖江市立待(たちまち)地区の「立待」の名は、越知山へ修行に通う泰澄の傭りを母が立って待っていたという伝説に由来する。立待小学校前には母が祭神と伝わる越智(おち)神社がある。

## 文学の中の泰澄と白山信仰 泉鏡花『夜叉ヶ池(やしやがいけ)』

戯曲『夜叉ヶ池』は、福井県と岐阜県の県境にある夜叉ヶ池に泰澄が電神を封じ込んだ話をモチーフに、主人公の男女が関わる鐘の話を展開している。

## 越前市



## 岡太神社・大瀧神社

大瀧神社は養老3年(719)、この地を訪れた泰澄が十一面観音を本地仏として創建したと伝わる。社殿は国指定重要文化財。岡太神社はさらに古く、1500年ほど前に、人々に紙漉きの技を教えた「川上御前」をあげ、岡太神社にお祀りしたと言われている。

【住所】越前市大滝町23-10  
【時間】境内見学自由 MAP→P36 E-3

## 帆山寺

聖武天皇の勅願で創建された由緒ある古刹。本尊の千手観音は、和銅7年(714)に、泰澄がインド伝来の霊木を彫刻したとされる。



【住所】越前市住吉町1-24  
【TEL】0778-22-4074  
【時間】境内見学自由 MAP→P37 D-3

## 中道院



泰澄が建立して、比叡山延暦寺の座主 元三大師が再建した寺。悪病に苦しむ庶民を助けようとした護摩炉の加持秘法「すりばちやいと」は、古くから信仰を集めている。現在では、頭がよくするということから受験生の参拝も多い。

【住所】鯖江市長泉寺町2-7-7  
【TEL】0778-51-1870  
【時間】境内見学自由 MAP→P37 D-2

## 鯖江市

越前町 越前市 鯖江市 池田町 南越前町

泰澄白山信仰ゆかりの おすすめコース

- 織田文化歴史館 大谷寺 朝日観音福通寺 越前和紙の里 大瀧神社

INFORMATION

Table with bus and train routes between Echigo, Echigo City, Saba, and Ika Town. Includes route names like '京福バス越前町方面行' and travel times.

※市町内スポットへは各駅よりバス・タクシーあり

グルメ情報

- 越前かに(越前町) 越前おろしそば(越前町) 山うに(鯖江市) ジビエ料理(池田町) 今庄つし柿(南越前町) かつら橋



凡例 (Legend) showing symbols for scenic spots, recommended spots,白山ビュースポット,道の駅, and roads (市町境, 鉄道, 高速道路, 鉄道(私鉄)).

おすすめスポット情報

福井県陶芸館 (Fukui Prefecture Pottery Museum) details including address, phone, hours, and website.

越前和紙の里パピルス館 (Echigo Washi no Sato Paper Museum) details including address, phone, hours, and website.

タケフナイフビレッジ (Takefukunai Village) details including address, phone, hours, and website.

うるしの里会館 (Urushi no Sato Kaikan) details including address, phone, hours, and website.

めがねミュージアム (Megane Museum) details including address, phone, hours, and website.

すわあずき 須波阿須疑神社と稲荷の大杉 (Suwa Azuki) details including address, phone, hours, and website.

北前船主の館 右近家 (Hokuriku Shipowner's Hall) details including address, phone, hours, and website.



泰澄大師  
白山開山1300年

AREA GUIDE

みほとけの里

# 敦賀市 美浜町 若狭町 小浜市 おおい町 高浜町



京都へとつながる鯖街道など、昔から都とのつながりが深い嶺南地域。泰澄が開基したとされる天徳寺や中山寺など、泰澄が手がけたとされる仏像が残る。古くから信仰の拠り所となってきた史跡を辿ると、色褪せない泰澄の足跡に触れることができる。寺社巡りの合間にリアス式海岸の穏やかな海沿いのドライブを楽しんだり、獲れたての日本海の幸を満喫したりするのも旅の醍醐味。泰澄を知る巡礼の旅を、より豊かに彩ってくれる。

## 敦賀市



こんぜんじ  
金前寺

天平8年(736)、聖武天皇の霊夢により、泰澄が十一面観音を本尊として建立したと伝わる。寺名は、天皇宸筆(しんぴつ)の金光明経を金櫃に封じ埋めたことに由来するという。

【住所】敦賀市金ヶ崎町1-4  
【TEL】0770-22-1909  
【時間】境内見学自由  
MAP → P40 F-2

## 美浜町



しょうれんじ  
青蓮寺

霊亀2年(716)に創建。泰澄が開いたと言われている。国指定重要文化財の観音菩薩立像は、現在、福井県立若狭歴史博物館に保管されている。

【住所】三方郡美浜町佐柿27-1  
【TEL】0770-32-0222(若狭美浜観光協会)  
【時間】境内見学自由  
MAP → P40 E-2

## 若狭町



てんとくじ うりわり たき  
天徳寺・瓜割の滝

泰澄が開基したという高野山真言宗の寺。17年ごとに御開帳を行う馬頭観音像は、養老年間に泰澄が宝篋山で彫ったと伝えられ、天徳年間にここに移されたという。境内奥には、山あいの岩間から湧き出る澄んだ清泉「瓜割の滝」がある。

【住所】三方上中郡若狭町天徳寺38-3  
【TEL】0770-62-1038  
【拝観時間】8:00~17:00  
【拝観料】無料  
MAP → P41 D-4



けひ じんぐう  
氣比神宮

地元で「けいさん」と呼び親しまれる、北陸道の総鎮守 越前国一の宮。シンボルの鳥居は、日本三大木造大鳥居のひとつで、国の重要文化財に指定されている。(平成29年12月まで修復中)

【住所】敦賀市曙町11-68  
【TEL】0770-22-0794 【拝観時間】6:00~17:00  
【拝観料】無料  
MAP → P40 F-2



ほうしゅんじ  
芳春寺

寺伝によれば、養老4年(720)、元正天皇の勅命により泰澄が神岳山寺を建立したのが起源とされる。戦国時代には、越前朝倉氏が裏山に城を築いて若狭侵攻の陣を置いた歴史をもつ。

【住所】三方郡美浜町佐田106-8  
【TEL】0770-32-0222(若狭美浜観光協会)  
【時間】境内見学自由  
MAP → P40 F-2



## 小浜市



じんぐうじ  
神宮寺

若狭一の宮の神宮寺。和銅7年(714)に、元正天皇の勅命により、創建されたと伝えられる。毎年3月2日、奈良の東大寺二月堂に香水を送る神秘的な「お水送り」の神事が行われており、地元では「お水送りが終わると、春が来る」といわれている。神宮寺の木造男神・女神坐像は、国の重要文化財に指定されている。

【住所】小浜市神宮寺30-4 【TEL】0770-56-1911  
【拝観時間】9:00~16:00(2月中旬~3月5日は不可)  
【拝観料】400円  
MAP → P41 D-4

## おおい町

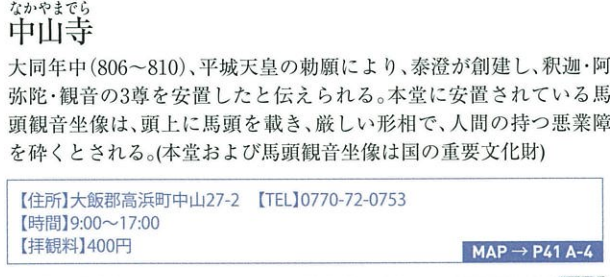


こよみかいかん  
暦会館

名田庄は、平安時代の安倍晴明を祖とする土御門家が天文暦道を行った地。暦会館はその史料を展示する。いち早く神仏習合が根づいた若狭は、平安時代も当時最先端をゆく思想や学問の地であった。

【住所】大飯郡おおい町名田庄納田終111-7 【TEL】0770-67-2876  
【開館時間】9:00~16:30(入館は16:00まで)  
【休館日】毎週水曜日(水曜日が祝祭日の場合は開館、翌日休館)、年末年始他  
【入館料】高校生以上200円、小中学生100円  
MAP → P41 B-5

## 高浜町



なかやまでら  
中山寺

大同年中(806~810)、平城天皇の勅願により、泰澄が創建し、釈迦・阿彌陀・観音の3尊を安置したと伝えられる。本堂に安置されている馬頭観音坐像は、頭に馬頭を載せ、厳しい形相で、人間の持つ悪業障を砕くとされる。(本堂および馬頭観音坐像は国の重要文化財)

【住所】大飯郡高浜町中山27-2 【TEL】0770-72-0753  
【時間】9:00~17:00  
【拝観料】400円  
MAP → P41 A-4



はがじ  
羽賀寺

鳳凰が飛来し、この地に羽根を落とした伝説が寺名の由来。霊亀2年(716)、元正天皇の勅命で泰澄と交流のあった行基が創建したとされる。木造十一面観音菩薩立像は、国指定重要文化財。

【住所】小浜市羽賀82-2 【TEL】0770-52-4502  
【拝観時間】9:00~16:00 境内見学自由  
【拝観料】400円  
MAP → P41 C-3



つちみかど  
土御門家墓所

安倍家3代の墓所。安倍家は天文勘文や暦の編纂に従事した家で、土御門家はその家名。陰陽師 安倍晴明の子孫 土御門家が、室町から江戸時代にかけて戦を逃れ、名田庄の地に移り住んだという。

【住所】大飯郡おおい町名田庄納田終  
【TEL】0770-67-2876(暦会館)  
【時間】見学自由  
MAP → P41 B-5

### 神仏習合ウォッチャーのコツ!

ご近所のお寺や神社で、神仏習合(白山信仰以外も含めて)の痕跡がないかなと思ったら、まずはその創建を調べてみよう。第一条件としては、創建が中世であること。そして、名称に神宮寺や別当寺、神護寺、神願寺、神供寺、神宮院、宮寺等がつけば、神社に附属して建てられた歴史を持つ寺だ。また、寺の境内なのに神社があったり、神社なのに鐘堂がある場合や、仏像が祀られているところもある。そんな視点で痕跡を探してみよう。

### 福井県の日本最古級3ヶ寺

福井県内には白山平泉寺をはじめ、神仏習合の歴史をもつ寺社が多い。「お水送り」で知られる神宮寺は若狭彦・姫神社の神宮寺であり、かつて氣比神宮と劔神社にも神宮寺が置かれていた。この3ヶ寺は泰澄の活躍と同時期の創建、神宮寺の日本最古級3ヶ寺に数えられる。

敦賀市・美浜町・若狭町

敦賀市 美浜町 若狭町 小浜市 おおい町 高浜町

秦澄白山信仰ゆかりの おすすめコース

- 金前寺・金崎宮 天徳寺 県立若狭歴史博物館 羽賀寺 中山寺(青葉山)

INFORMATION

[敦賀市～高浜町間]

Table with 2 columns: Station Name, Time. Includes JR敦賀駅, JR小浜線, JR美浜駅, JR三方駅, JR上中駅, JR小浜駅, JR若狭本郷駅, JR若狭高浜駅.

※市町内スポットへは各駅よりバス・タクシーあり



おすすめスポット情報

Grid of 10 spot information cards. Each card includes a title, a small image, and descriptive text. Spots include: 若狭和田ビーチ, 道の駅 うみんぴあ大飯, 蘇洞門めぐり, 若狭三方縄文博物館, 若狭国吉城歴史資料館, 金崎宮, 若狭路ご膳, おぼろ昆布(敦賀市), うなぎ(若狭町), ぼたん鍋(おおい町), へしこ料理(美浜町), 小浜鯖の刺身(小浜市), ふぐ料理(高浜町).

# おろしそば

福井県でそばと言えば大根おろしを添えたおろしそばが主流。よいそば粉とよい水の出逢いが、シンプルな料理の中に奥深い味わいを作り出す。近年は長寿食としても注目されている。



# コシヒカリ

コシヒカリ作りの研究は福井県で始まり、その名は古代の福井県の国名「越国(こしのくに)」を入れて命名したもの。そして平成28年にはコシヒカリを超える新品種が福井県で誕生。その新しい味にもごうご期待。

## 荘園の歴史をもとにおいしい福井のお米を東大寺に奉納!



## 白山ビューの温泉も!



かつて奈良東大寺の荘園「糞置荘(くそおきのしょう)」があった福井市上文殊地区、および「道守荘(ちもりのしょう)」があった同市社北地区では、その歴史をもとに献上米をつくり、奈良との交流を現代に蘇らせている。お米は東大寺の秋の大祭(10月15日)で奉納する。



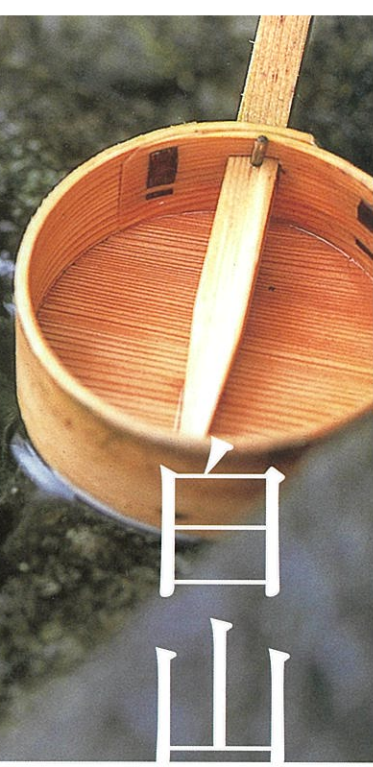
献上田で収穫した米を古式に則り奉納

「今庄365温泉やすらぎ」(南条郡南越前町板取85-6)は、知る人ぞ知る白山ビューの温泉。天気に恵まれ東の空に雲がなければ、大浴場や露天風呂から白山連峰を眺める贅沢が楽しめる。福井県内で、しかも550円(大人)で白山の眺望を楽しめる温泉は珍しい。白山ビューのベストシーズンは山頂に積雪のある11月から5月頃。



# 温泉と湧き水

白山水系の地下を流れる清浄な伏流水は、大野市のお清水(しょうず)をはじめ、さまざまところに清らかな湧水をつくり、あるいは地中深く熱せられて効能豊富な温泉となる。福井県では、あわら温泉はもちろんのこと多くの市町で温泉が楽しめる



# 白山からの恵み

歴史と信仰、そして神仏の宿る水にまつわる越前若狭の宝の数々

霊峰白山の雪解け水は、いくつもの渓谷を経て福井県には九頭竜川をつくり、支流の足羽川・日野川をあわせた白山水系の水が地を潤す。聖域からの水は豊かな実りをもたらす。やがて海に注いで越前若狭の海の幸を育む。山の栄養を蓄えた水の恵みがその極上の味をつくる。そして、信仰のふるさと越前若狭の人々は、神仏の賜物である水を大切にし、感謝を捧げてきた。山・海・里の食材はもとより、食文化、風習までもが白山ゆかりの恵みと伝統に培われたといえる。

## ほうおんこう 報恩講料理

浄土真宗の信仰が厚い福井県では、親鸞上人の命日(旧暦11月28日、新暦1月16日)前後に「報恩講」という法要を営み、報恩講料理を皆で食べる風習が昔から続けられている。地域色豊かな料理は、健康に良いヘルシー食としても注目されている。



## 厚揚げ

厚揚げは、福井県の食を語る上で欠かせない食材の一つ。香ばしい香りをもつ分厚い油揚げがさまざまに料理され、毎日の食卓を彩る。ちなみに福井市は油揚げの消費量日本1位。  
(平成28年度家計調査(総務省))



## 水ようかん

福井県で昔から最もポピュラーな菓子が水ようかん。福井県人はコタツで水ようかんを食べるのが冬の定番。他所のものより柔らかく、ツルリとした食感と黒砂糖の風味もおいしい。



- 福井の食情報については右の「ふくいドットコム」グルメ情報から検索してください。
- それぞれの掲載内容についての詳しい情報については「旬の里ふくい(食材名)」でキーワード検索してください。

## 里芋

白山水系の清らかな水と、昼夜の気温差が大きい気候など、ここならではの風土に育まれた奥越前の里芋。身が縮まり煮崩れしにくく、独特の歯ごたえと風味がおいしいと人気が高い。



## 地酒

酒は神への供物として生まれたものであり、古代からの信仰の起源をもつ福井県は酒とも縁の深い地。よい水とよい米、酒造りに適した気候に恵まれる福井県は、世界のひのき舞台に立つ酒をはじめ、各蔵元が丹誠込めた芳醇旨口の名酒が揃う。



## 鯖のなれずし

小浜市に伝わる先人の知恵が生んだ発酵食品。平城京跡出土の木簡には、若狭から送られた「なれずし」と目される「鮓(すし)」の文字があり、古代から作られていたと考えられている。平成18年、食の世界遺産とされる「※味の箱舟」に認定される。  
※味の箱舟…消滅の危機にある食材を守る国際的なプロジェクト



## 泰澄ゆかりのスポット巡りには こちらもおススメ

MUSEUM  
INFORMATION

泰澄や白山のこと、福井の祈りの歴史のことなどについて知りたい方に、おススメの歴史系博物館をセレクト。ズバリ泰澄をテーマとした展示のある博物館や、神仏習合のことがわかる博物館など、それぞれに福井ならではの歴史の面白さ満載!

### 福井県立こども歴史文化館

学芸員より

遠い過去から現在まで、ふくいゆかりの人物をとらえて、歴史や文化を楽しむミュージアムです。2階「先人のひろば」では、伝説のひとつ「泰澄和尚伝記」に基づいて、泰澄を映像で紹介しています。越知神社本「泰澄和尚伝記」(複製)や平泉寺白山神社の「境内図」「天嶺図」(複製)も展示。大人だけの入館もOKです。学芸員 宮川 陽子



【住所】福井市城東1丁目18-21 【TEL】0776-21-1500  
【入館料】無料 【開館時間】9:00~17:00(最終入館 16:30)  
【休館】月曜日・祝日の翌日、年末年始

MAP → P33 D-4

### みにく龍翔館

建物は明治期の龍翔小学校を郷土資料館として復元したもの。白山の眺めも楽しめる。

【住所】坂井市三国町緑ヶ丘四丁目2-1 【TEL】0776-82-5666  
【入館料】大人300円 小人150円  
【開館時間】9:00~17:00(最終入館 16:30)  
【休館】水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)

MAP → P33 C-2

### 福井市立郷土歴史博物館

古代からの様々な福井の歴史を楽しみながら知ることができる。時代衣装体験などの企画も人気。



【住所】福井市宝永3丁目12-1 【TEL】0776-21-0489  
【入館料】大人(15歳以上)210円 中学生以下・70歳以上無料  
【開館時間】9:00~17:00(最終入館 16:30) 3/1~11/5は19:00閉館  
【休館】年末年始

MAP → P33 D-4

### 大野市歴史博物館

白山信仰の資料や立山信仰との関連を示す資料ほか、奥越の歴史と文化を詳しく知ることができる。

【住所】大野市天神2-4 【TEL】0779-65-5520  
【入館料】高校生以上200円 中学生以下無料  
【開館時間】9:00~16:00 日曜・祝日 9:00~17:00  
【休館】月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始

MAP → P28 E-4

### 越前町織田文化歴史館

学芸員より

泰澄が晩年を過ごしたとされる越知山大谷寺の裏山で発見した須臾器は、没後約60年後のものでした。その後、神仏習合を示す「神」と記された器を発見。また、越知山の山頂で発見した、奈良時代の遺物は、その実在を示す物証として注目を浴びました。越前町織田文化歴史館では、これら泰澄にかかわる信仰の証を展示しています。



学芸員 堀大介

【住所】丹生郡越前町織田153-1-8 【TEL】0778-36-2288  
【入館料】高校生以上100円 中学生以下・70歳以上無料  
【開館時間】10:00~18:00(最終入館 17:30)  
【休館】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)

MAP → P37 B-2

### 福井県立若狭歴史博物館

みほとけの里若狭の仏像をはじめ、神祀りの風習など、若狭の風土と結びついた信仰に関する展示が充実。



【住所】小浜市遠敷2丁目104 【TEL】0770-56-0525  
【入館料】一般300円 高校生以下・70歳以上無料  
【開館時間】9:00~17:00(最終入館 16:30)  
【休館】当館指定日、年末年始

MAP → P41 D-4

### 福井県立歴史博物館

緑豊かな公園に隣接する博物館。情報ライブラリーでは白山をテーマにしたオリジナル番組などを見ることが出来る。

そのほか、昭和30~40年代の再現町並のある「昭和のくらし」コーナーも人気。



【住所】福井市大宮2-19-15 【TEL】0776-22-4675  
【入館料】一般100円 高校生以下・70歳以上無料  
【開館時間】9:00~17:00(最終入館 16:30)  
【休館】第2・第4水曜日、年末年始(12/28~1/2日)

MAP → P33 D-4

### 白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

学芸員より

平泉寺は『平家物語』や『太平記』、『義経記』などにも登場し、都にも知られた存在でした。その姿が初めて現れたのは平成元年度から始まった発掘調査でした。河原石を敷き詰めた石畳道やニュータウンを彷彿とさせる多数の僧坊群など、まさに中世の宗教都市です。そういった情報は、白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」で紹介していますので、ぜひお立ち寄りください。



勝山市教育委員会史蹟整備課 宝珍伸一郎

【住所】勝山市平泉寺町平泉寺 66-2-12  
【TEL】0779-87-6001  
【入館料】無料 【開館時間】9:00~17:00(最終入館 16:30)  
【休館】年末年始(12/28~1/2日)

MAP → P28 E-2

【ガイドブック制作協力】 上記の博物館 (以下五十音順) 朝日観音福通寺 阿部美香氏(東大史料編纂所) 石川県立白山ろく民俗資料館 大谷寺 神奈川県立金沢文庫 北野武男氏(写真家) 岐阜県白鳥観光協会(岐阜県) 佐々木英治氏(越前町文化財保護委員長) 佐々木千里氏(泰澄塾) 称名寺(神奈川県) 谷正孝氏 福井県山岳連盟 平泉寺白山神社 松平文庫 武藤茂樹氏(写真家) 八坂神社

まだまだ不思議がいっぱい!! 越前若狭



謎を解き明かす『時空旅』に出かけよう!

泰澄、白山、  
そして白山信仰

十一の謎

それホント?と思ったらぜひ確かめて!  
あなたならではの推理を自由に楽しむ  
謎解き旅が待っている!!



#### 一 泰澄の誕生日、 夏なのに雪が...

泰澄の誕生日は飛鳥時代の天武天皇11年(682)6月11日(現代の暦では7月20日)。その日は夏にもかかわらず雪が降り、一面が真っ白に凍り付いたという。夏に雹(ひょう)が降ることはごく稀にあるが、雪=白山を連想させる神秘的なエピソードだ。

#### 二 泰澄、山頂で 蛇三千匹を封じ込める!

かつて白山にはたくさんの悪蛇がいて、麓の村へ降りて悪さをしたという。そこで泰澄は、山頂に近い千蛇ヶ池に千匹を入れて万年雪で押さえ、また、石の下に千匹を封じ込めて蛇塚をつくり、さらに残りの千匹は刈込池に移して封じたという。

#### 三 結びの神様 ククリヒメとは?

ククリヒメノミコト(菊理媛尊)(ククリヒメ)は白山や全国の白山神社が祀る神と同一とされる女神。日本書紀では、黄泉の国に行ったイザナギとその妻のイザナミの仲裁をしている。また、その発音から高句麗由来の神とする見方もあり、謎の多い神といわれる。

#### 四 九頭竜川から恐竜化石まで竜づくし?



九頭竜川と白山

福井県は竜と縁が深い。泰澄が白山の緑ヶ池(翠ヶ池)で祈ると、九頭竜王が姿を現している。また、白山麓から流れる九頭竜川があり、竜伝説も各地に多い。竜(龍)を祀る神社もある。さらに勝山市・大野市は恐竜化石の産地。福井はまさに竜の故郷かも!?

#### 五 織田信長のルーツは越前

かつて神仏習合の社であった劔神社(越前町)は、織田信長ゆかりの神社でもある。信長の祖先は劔神社の神官を務める家柄で、斯波氏の家臣となって尾張に移った。信長は劔神社を氏神として仰ぎ、多くの神領の寄進や領民の保護などを行っている。



劔神社(越前町織田)

#### 六 焼討ちされるも生き残った 白山平泉寺の大杉

白山平泉寺旧境内には、天正2年(1574)の一向一揆による焼討ちを生きのびた杉が7本あるといわれている。白山平泉寺48社のひとつ若宮八幡社のご神木や、北谷六地蔵近くの大杉、女神川上流の崖にある「滝の堂の大杉」などは、白山平泉寺の歴史を見つけてきた生き証人でもある。

#### 七 白山麓の縄文遺跡と 古代の北陸地方

白山麓には縄文遺跡があり、山をご神体として崇める原始的な信仰が、かなり古い時代からあったという説がある。また、大和朝廷ができる以前に、白山を取り巻く一帯(現在の北陸地方)に、古代の文明社会があったのではないかという説もある。

#### 八 ひらいずみ へいせんじ 平泉寺と平泉寺との関係?

藤原清衡から四代にわたり栄華を誇ったまち、奥州平泉。諸説ある名の由来の一つに越前の白山平泉寺がある。平泉寺白山神社に伝わる古文書に、藤原秀衡が白山に銅の仏像2体、白山平泉寺に釣鐘を寄進し、自分の城郭を平泉館と改めたとの記述がある。また、秀衡が建立した寺に白山社があった。

#### 九 渡来人? 秦氏? ハイテク文明 をもつ集団の存在?

泰澄は渡来人の秦氏系の一族ともいわれる。越前は製鉄や機織りなどが古くから行われていた地であり、また、日本海を航行する際に白山が目印となることなどから、渡来系の先端技術を持ち、山を信仰する集団がいたのではないかと見られている。

#### 十 「白」と日本人そこに何が?

「白」は純粋で清らかなイメージをもち、日本人に最も好まれる色といわれる。例えば神主が神と交信する時の白装束、言葉では「明白」や「白状」があり、また、昔は白い鹿や蝦(カ)が吉兆とされたことなど、日本人にとって白は特別な色なのだ。



白い紙でつくる紙垂(シテ)

#### 十一 「神は自然に宿る」 =サステナブル社会の原点か?

白山は富士山・立山と共に日本三霊山や日本三名山に数えられる。険しい深山の自然、水や石、一本の草にも神が宿るとした日本人は、それらを大切にしながら長い歴史を紡いできた。これからの持続可能な社会づくりのヒントが白山信仰にあると言えるかも。



**飛行機** 石川県の小松空港が空の玄関口。東京(羽田・成田)・札幌・仙台・福岡・那覇からアクセス可。  
●小松空港(連絡バス(10便/日)で約60分)→JR福井駅 ●小松空港(バスで約12分)→JR小松駅(JR北陸本線で約30分)→JR福井駅  
問い合わせ先 / ANA(全日空) 0570-029-222 JAL(日本航空)およびJTA(日本トランスオーシャン航空) 0570-025-071

**車利用** 東京から 福井ICまでは、東名高速道路経由もしくは関越自動車道経由。  
名古屋から 福井ICまでは、名神高速道路・北陸自動車道経由。  
大阪から 福井ICまでは、名神高速道路→北陸自動車道経由。(若狭方面へは、中国自動車道→舞鶴若狭自動車道経由もあります。)

**東京から車で福井ICまで 約5時間半**  
**名古屋から車で福井ICまで 約2時間**  
**大阪から車で福井ICまで 約2時間半**

	出発	敦賀駅	武生駅	福井駅	芦原温泉駅
東京から	東京駅 東海道新幹線ひかり(米原駅より特急しらさぎ)	2時間40分	3時間1分	3時間15分	3時間27分
	東京駅 北陸新幹線かがやき(金沢駅より北陸本線特急)	4時間	3時間28分	3時間10分	3時間3分
名古屋から	名古屋駅 東海道新幹線ひかり(米原駅より特急しらさぎ)	55分	1時間16分	1時間29分	1時間41分
	名古屋駅 特急しらさぎ	1時間34分	1時間52分	2時間5分	2時間17分
大阪から	大阪駅 特急サンダーバード	1時間19分	1時間39分	1時間47分	2時間

※乗り継ぎ時間を含めません。

東京から	名古屋から	大阪から	
出発	福井駅東口	出発	福井駅東口
東京駅八重洲南口	8時間20分	名鉄バスセンター	2時間50分
新宿駅新南口	7時間40分	JR名古屋駅	2時間40分
		大阪梅田	3時間30分
		近鉄なんば駅西口(OCATビル)	3時間30分
		大阪駅前・地下鉄東梅田駅	3時間5分

問い合わせ先 / 【東京・大阪・名古屋⇒福井】 福鉄高速バス予約センター 0778-21-5489、京福バスチケットセンター 0776-24-4890  
【大阪⇒小浜】 福鉄高速バス大阪線予約センター 0770-53-5489、近鉄高速バスセンター 06-6772-1631

主な問い合わせ先

	施設名称	住所	連絡先	開館時間
勝山市 大野市 永平寺町	白山平泉寺歴史探遊館 まほろば	勝山市平泉寺町平泉寺 66-2-12	0779-87-6001	9:00~17:00(入館は16:30まで)
	大野市歴史博物館	大野市天神町2-4	0779-65-5520	月~土/9:00~16:00 日・祝/9:00~17:00
	(一社)大野市観光協会	大野市元町10-23(七間通り)	0779-65-5521	
	永平寺門前観光協会	吉田郡永平寺町志比6-10-1	0776-63-1711	
	永平寺町観光物産協会	吉田郡永平寺町松岡春日1-4	0776-61-1188	
福井市 あわら市 坂井市	福井県立歴史博物館	福井市大宮2-19-15	0776-22-4675	9:00~17:00(入館は16:30まで)
	福井県立こども歴史文化館	福井市城東1丁目18-21	0776-21-1500	9:00~17:00(入館は16:30まで)
	福井市立郷土歴史博物館	福井市宝永3丁目12-1	0776-21-0489	9:00~17:00(3/1~11/5までは19:00閉館)
	みくに龍翔館	坂井市三国町緑ヶ丘4丁目2-1	0776-82-5666	9:00~17:00(入館は16:30まで)
	(公社)福井県観光連盟	福井市松本3丁目16-10	0776-23-3677	
	(公財)福井観光コンベンションビューロー	福井市中央1-2-1ハビリン3F	0776-20-5151	
	(一社)あわら市観光協会	あわら市二面33-1-5(えちぜん鉄道あわら湯のまち駅舎内)	0776-78-6767	
	(一社)坂井市観光連盟	坂井市三国町安島64-1-166(東尋坊観光交流センター内)	0776-43-0753	
	坂井市三国観光協会	坂井市三国町安島64-1-166(東尋坊観光交流センター内)	0776-82-5515	
	坂井市丸岡観光協会	坂井市丸岡町霞町3-1-3(一筆啓上茶屋内)	0776-66-5880	
鯖江市 越前市 越前町 南越前町 池田町	(一社)越前町観光連盟	丹生郡越前町厨71-335-1	0778-37-1234	
	越前町織田文化歴史館	丹生郡越前町織田153-1-8	0778-36-2288	10:00~18:00(入館は17:30まで)
	(一社)越前市観光協会	越前市府中1丁目2-3	0778-23-8900	
	(一社)鯖江観光協会	鯖江市桜町3丁目950(道の駅西山公園内)	0778-52-2323	
	南越前町今庄観光協会	南条郡南越前町今庄74-6	0778-45-0074	
南越前町河野観光協会	南条郡南越前町河野2-16	0778-48-2240		
いけだ農村観光協会	今立郡池田町稲荷36-25-1	0778-44-8060		
敦賀市 美浜町 若狭町 小浜市 おおい町 高浜町	福井県立若狭歴史博物館	小浜市遠敷2丁目104	0770-56-0525	9:00~17:00(入館は16:30まで)
	(一社)若狭湾観光連盟	小浜市遠敷1丁目101 福井県若狭合同庁舎3F	0770-64-5640	
	敦賀観光案内所	敦賀市鉄輪町1丁目1-19	0770-21-8686	
	(一社)若狭美浜観光協会	三方郡美浜町松原35-7(JR美浜駅内)	0770-32-0222	
	(一社)若狭三方五湖観光協会	三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1	0770-45-0113	
	若狭おばま観光案内所	小浜市駅前町1-1	0770-52-2082	
(一社)おおい町観光協会	大飯郡おおい町本郷153-1-2	0770-77-1734		
(一社)若狭高浜観光協会	大飯郡高浜町宮崎77-1-8(まちの駅内)	0770-72-0338		

**観光ボランティアガイド** お問い合わせ先 福井県観光ボランティアガイド協議会 9:00~17:00(月曜~金曜) 予約1週間前

施設名称	料金等	連絡先	受付時間
吉崎語り部の会	1組1時間 1,000円	吉崎公民館 tel.0776-75-1205	9:00~17:00(月曜~金曜)
勝山市観光ガイドボランティアクラブ	無料(ただし交通費1,000円)	勝山市観光政策課 tel.0779-88-8117	8:30~17:15 予約1週間前
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークガイド	要問合せ	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会事務局(勝山市役所内) tel.0779-88-8126	要問合せ
観光ボランティアガイド大野	無料(ただし交通費1,000円)	(一社)大野市観光協会 tel.0779-65-5521	8:30~17:00 予約1週間前
鯖江市産業観光ボランティアガイドの会	無料(ただし交通費1,000円)	鯖江市観光案内所 tel.0778-51-2229	10:00~16:00 予約1週間前
越前かたりべの会	無料(ただし交通費1,000円)	丹生郡越前町西町中13-5-1 tel.0778-34-8720	9:00~17:00(月曜~金曜) 予約1週間前
観光ボランティアガイド「若狭の語り部」	無料(ただし交通費1,000円)	若狭おばま観光案内所 tel.0770-52-2082	9:00~17:00(月曜~金曜) 予約1週間前

主な白山開山1300年記念事業(平成29年)

	イベント名	会場または主催団体	日程	内容
福井県	特別展「泰澄—白山信仰における意義を探る—」	福井県立歴史博物館	10月21日~11月26日	泰澄の姿を描いた諸書等から白山信仰における泰澄の意義に迫る特別展
	春季特別展「白山開山1300年記念展 泰澄伝説が生まれたころの越前」	福井県立こども歴史文化館	4月29日~6月4日	さまざまな泰澄に関わる伝説と古代の越前の歴史や文化を伝える資料の展示
勝山市	白山平泉寺開山1300年記念 来場者プレゼント		1月1日~12月31日	記念ポストカードの配布、ウォークラリーマップの配布
	白山平泉寺開山1300年記念 食と音楽の祭典	白山平泉寺開山1300年記念PR事業実行委員会	7月15日~17日	ジャズや弦楽四重奏の演奏
	平泉寺白山神社宝物館 特別公開		7月15日~8月21日	宝物館 特別公開
大野市	篠座神社 御鎮座1300年 奉祝大祭	篠座神社	4月20日~23日	里神楽奉納、奉祝大祭、伝統芸能奉納、稚児行列など
坂井市	白山開山1300年記念 シンポジウム	坂井市教育委員会	8月5日	専門家・芸芸員による豊原寺に関する研究成果などの報告
	白山開山1300年記念 雪峰白山豊原寺の歴史と遺産	みくに龍翔館	10月28日~12月3日	豊原寺関連資料を中心に、坂井市内の白山および白山信仰に関する資料公開
福井市	開山1300年記念展「福井市の霊山 文殊山」	福井市立郷土歴史博物館	10月13日~12月3日	越前五山 文殊山に関する展示紹介
越前市	開創1300年記念特別展『粟生寺展』	越前市武生公会堂記念館	12月8日~1月14日	粟生寺(しよくしやうじ)の開創1300年を記念した、粟生寺が誇る寺宝の特別展
越前町	泰澄・白山開山1300年記念 2年連続講演会	越前町織田文化歴史館	9講演開催	泰澄や越知山・白山に関係する連続講演会(平成28年度~平成29年度)を開催
	泰澄に関する展覧会		10月~12月	泰澄大師に関する展覧会の開催
	朝日観音開創1300年記念 御開帳	朝日観音福通寺	4月7日~9日	泰澄大師による朝日観音開創1300年を記念した、秘仏本尊正観音菩薩の御開扉

※イベントについては、内容等が変更になる場合があります。